女子世界選手権参加について

日本ハンドボール協会会長
式場隆三郎

昨年ドイツで開かれた世界室内選手権大会に参加したわがチームは、ことしルーマニアで開かれる女子のフィールド世界選手権大会に参加することになった。これは昨年の参加が世界のハンドボール界に認められたことによっての招請であって、大きな意義がある。

ここ数年来、飛躍的な向上を見つつあるわが国のハンドボールが、こうして女子の世界選手権大会への参加が認められたことは、こんごの普及と向上とにさらに大きな力を加えることになる。しかもハンドボールが、東京オリンピックの種目から落とされて失望している日本にとって、これは一つの光明を与えることに役立つものである。そして各国が切望している東洋でのハンドボール世界選手権大会が、やがて日本で開かれる可能性のあることを示唆するものとも解されよう。われわれはこの女子の遠征の意義をじゅうぶんに理解し、その成果に期待をかけたい。

私は昨年のヨーロッパ遠征のときに、わが国の女子競技の向上のために最強チームを招きたいと思って努力し、交渉はことしの初めまで続けた。しかしチェコもユーゴも国内の事情のために来日が実現しなかった。それがこんどの参加によって、さらに大きな意義を持つことになったのはよろこばしい。

選手権大会への参加そのものはもとより重大であるが、この機会にルーマニア、ドイツその他での親善試合が、これからの女子競技の発展にどんなに有効であるかは、計りしれないものがある。

これが決定してから着々準備にかかっているが、昨年の男子チームの経験をじゅうぶんに生かし、さらに細心の注意を払っているので、もっとりっぱにやり遂げてくると信じている。

世界各国の日本チームへの期待は大きい。われわれは全力を尽くしてその期待を裏切らないように行動せねばならない。競技はもとより、すべての行動において世界人としての品位を持ち、日本人のよさの特徴を生かしたい。

東洋におけるハンドボールの興隆は、日本がその中心になっている。いまや女子がこの大会に参加することは、東洋諸国にとって大きな刺激となるであろう。そしてやがて東洋の各国が男子大会、女子大会の開かれる可能性への道を開くことになる。

わが協会は全国の同志の力を結集してこの女子の遠征を助け、その大きな使命の達成を期したい。晴れの門出に際し、心からの祝福を送り、健闘を祈るものである。

ハンドボール「第10号目次」

表紙写真…世界選手権参加日本代表の主力 左から宇井、沢田、西村、磯部の各選手

女子世界選手権大会参加特集

日本、第一戦はデンマークと
夢の女子チーム、初の海外遠征

第二回世界女子（7人制）ハンドボール選手権大会は七月八日から十五日までルーマニアの首都ブカレストで開かれ、日本は初めて参加する。参加国は日本をはじめデンマーク、ドイツ、ユーゴ、ポーランド、ソ連、チェコ、ハンガリ、ルーマニアの九カ国である。日本チームは六月二十日羽田空港発北極回りのエア・フランス機で出発、西独を経てルーマニアにはいり、帰途フランスに立ち寄ったあと、七月二十七日帰国することになった。

優勝はチェコかルーマニア

日本は五位入賞をねらう

▽……優勝候補の筆頭は前回優勝のチェコである。1957年のインドア世界選手権に優勝し、しかも国際試合では7割に近い勝率をあげている。チェコは毎年国内選手権大会を開き、そのなかから優秀選手を選抜してナショナルチームを結成する。このチームが国際試合に出場する。この大会でも優秀選手がずらりと並んでいる。最近ナショナルチームの国際試合の成績はルーマニアを破っているだけに、優勝候補のトップである。二番手はルーマニアである。最近ではブカレストチームがプラハチームを破っている。これはナショナルチームではないが、とにかくチェコを倒しているのは注目されている。

▽……チェコのチームは男子のようなプレーをみせ、体格も日本の男子級といわれている。直線に走るスピードはかなりあるが、ゲーム運びそのもののスピードはない。体力、スピードでは日本はちょっと歯が立たない。ルーマニアにも同じことがいえる。かなりの力を持っているし、チェコとの優勝争いは必至とみられている。昨年欧州遠征した松本コーチ、中沢マネジャーの二人は「チェコはそう強くないと思う。むしろルーマニアがこわい」といっている。からだは大きいが、ボールそのものにスピードがなく、うまみがない。日本がクジ運に恵まれるとフランスに勝てそうだ。ダークホースは初出場のソ連である。ここ数年来のソ連

選手の選考事情

日本ハンドボール協会は一月の全国評議員会で第2回世界女子（7人制）選手権大会に参加することを正式に決定した。この評議員会では

1 実業団チームを派遣する。
2 できれば単独チームとする。
3 単独チーム不可能の場合はピックアップチームでも致し方なし。
4 今回の遠征チームの決定については常務理事会に一任する。
5 そのチームの交渉は理事長に一任する。

の態度を決めた。協会はこの線に従ってまず女子チームNO1の愛知紡績に参加を申し入れた。ところが愛知紡績の首脳部は「単独チームとしては出場できない」と回答してきた。他の単独チームということは考えられないのでピックアップチームということにし、協会から各チームに交渉を始めた。五月四日に候補選手を選出し、同六日の全国緊急常務理事会を開いて決めた。

役員選出については「以前からの申し合わせで、なるべく重複しないことを原則としたが、今回は女子の初参加であり、昨年の経験者から一人を派遣する」という声が強かった。この結果「今回の派遣交渉の経過、遠征チームをまとめる立場からみても、また次の大会誘致を考えて高嶋理事長にぜひ役員として参加してほしい」との要望があった。高嶋理事長は固く辞退したが、理事会の要望が強いのでこれを受諾した。他の三人の役員としてコーチ宮原俊隆（大崎電気）、塩川安賢（レナウン）、マネージャー的場益雄（協会常務理事）を内定した。ところが的場氏が公務の都合で辞退したので、ヘッドコーチに北川浩氏（熊本市立高校監督）、コーチに宮原氏、マネージャーに塩川氏を起用、十日の理事会で正式に選手団を決め、二十一日発表した。同日国立競技場のスポーツマンホテルで第一次合宿にはいった。この合宿で主将に沢田勝子（愛知紡）、副主将に山田帆浪（レナウン工業）、旗手に磯部昌子（愛知紡）を選出した。

における ハンドボールは急速に伸び、共産圏諸国の交流試合でも互角に試合を進めている。「ひょっとしたらソ連が優勝するのではないか」と高嶋監督は語っている。

▽……ところで日本はどこまでやれるか。ルーマニア、チェコ、ソ連には歯が立たないかもしれない。5月30日現在、まだ試合方法も組み合わせも国際ハンドボール連盟から連絡がない。昨年の男子七人制の例からみると、参加9チームを3ブロックとなりそうだ。クジ運がよければ1勝できる。1勝すれば6位以内に入賞できることになる。日本がもし1勝するためにはどうすればいいか。チェコ、ルーマニア、ソ連など外国チームは体力があるので、これに対抗するにはまずスタミナをつけ、激しく走り回ることである。なまはんかな奇襲戦法をやってみても、一度は通用しても二度通用しない。速攻の追い打ちプラス、セットプレーのコンビネーション以外にない。出発前の合宿では速攻の完成に主眼をおいていた。100メートルダッシュを平均して14秒台で走れるようになれば善戦が期待される。とにかく1勝できれば初の世界選手権出場としては大成功といっていい。上背がなく、国際試合の経験がないだけに、選手自体が堅くならなければいいが……。（鷲尾）

勝負より経験を主眼に

日本の女子チームが世界選手権に出場する話があったとき、時期尚早を真剣に説く人がかなりあった。

なにしろ、日本の女子チームが戦前戦後を通じて国際試合を行なうのは、初めてのこと。その初の国際交流が国内での試合ならともかく、ヨーロッパへ遠征してというのだから冒険といっても言が過ぎまい。

昨年男子が参加したときは西ドイツ、ルーマニアを招いたあとだけに、ある程度ヨーロッパ各国の実力を判断することができた。こんどは文字通り「白紙の状態」である。残念ながら男子が世界選手権に参加したとき以上に、今回の女子チームには多くを望むことはむりのようである。

日本チームとしてはこれまでの国内での技術と経験を活かして、それを本番のときに百パーセント発揮する以外に道はない。むしろ今回の遠征はこれから日本の女子界が、国際舞台へ進出するワンステップとみるのが妥当である。

ヨーロッパの専門誌の写真を見ても、また高嶋理事長（男子世界選手権監督）の話でも『体力の差』ははっきりしている。それによって生まれる「スピードの差」は当然スコアとなって現われよう。

日本チーム善戦の希望は、このヨーロッパチームのスピードに対抗できる戦法をいかにして生み出すかであろう。

男子の場合は日本人独得の個人技術がある程度の実績を得た。女子の場合は正直のところ抜群の個人技を持つプレイヤー（この場合国際的に通用するという意味）は見当たらないだけに苦しい。

ヨーロッパチームと同じスピード、同じペースで戦うことはまず不可能である。あえて勝負に執着するなと私は言いたい。今回の遠征は〃勝負をしに行く〃のではなく〃経験しに行く〃のだといった方がいい。

スケジュール（現地時間）

		時分	
6.20	羽田発	22.30	北極経由エア・フランス機
21	ハンブルグ着	7.00	
22	対ベルリン選抜（ベルリン）		
24	対ドイツ公式戦（ハノーバー）		
26	対北ドイツ選抜戦（ブッパタール）		
28	対チューピンゲン選抜（チューピンゲン）		
7.1	対南バーデン（ジンゲン）		
3	ジンゲン発	16.00	
〃	ブカレスト着	21.00	世界選手権ルーマニア滞在
24	ブカレスト発	7.45	
〃	パリ着	12.30	フランス滞在
25	対ステラ（サンモール）		
26	パリ発	10.50	
7.27	羽田着	22.40	南回りエア・フランス機

世界選手権大会日程

▽**第一次リーグ**

Aグループ：チェコ、ドイツ、ソ連
Bグループ：ハンガリー、デンマーク、**日本**
Cグループ：ユーゴ、ポーランド、ルーマニア

7月7日（土）
Aグループ：ドイツ対ソ連　プロエステ市
Bグループ：デンマーク対日本　ブラソヴ市
Cグループ：ポーランド対ルーマニア　ブカレスト市

7月8日（日）
Aグループ：チェコ対ドイツ　プロエステ市
Bグループ：デンマーク対日本　ブラソヴ市
Cグループ：ユーゴ対ポーランド　ブカレスト市

7月9日（月）
Aグループ：ソ連対ポーランド　プロエステ市
Bグループ：日本対ハンガリー　シビウ市
Cグループ：ルーマニア対ユーゴ　ブカレスト市

▽**第二次リーグ**

Ⅰグループ：Aグループ1位、Bグループ2位、Cグループ1位
Ⅱグループ：Bグループ1位、Aグループ2位、Cグループ2位
Ⅲグループ：A・B・Cグループの3位

7月11日（水）
Ⅰグループ：B2位　対　C1位　ブカレスト市
Ⅱグループ：A2位　対　C2位　ブラソヴ市
Ⅲグループ：B3位　対　C3位　プロエスト市

7月12日（木）
Ⅰグループ：A1位　対　B2位　ブカレスト市
Ⅱグループ：B1位　対　A2位　シビウ市
Ⅲグループ：A3位　対　B3位　プロエスト市

7月13日（金）
Ⅰグループ：C1位　対　A1位　ブカレスト市
Ⅱグループ：C2位　対　B1位　ブラソヴ市
Ⅲグループ：C3位　対　A3位　プロエスト市

▽**決勝戦**

1グループと2グループの同位チームがお互に対戦する。

7月14日（土）：5，6位決定戦　ブカレスト市
7月15日（日）：1位～4位決定戦　ブカレスト市

日本代表21人のプロフィル

実業団チームの精鋭あつまる

スポーツ万能選手

団長　出口林次郎

団長　出口林次郎

【横顔】とにかくスポーツ万能選手である。柔道七段、ボートもやればマラソンもやる。水泳も飛び込みもなんでもござれというスポーツマン。明大卒業後アメリカのコーネル大学、ドイツのベルリン体育大学を卒業し、日本ばかりでなく遠くアメリカ、ドイツにも〝日本に出口あり〟といわれるほどその名は響き渡っている。大正11年から昭和3年までベルリンに留学していたとき、社会体育としてのハンドボールをマスターし、日本に導入した。つまり実業団ハンドボールの先駆者といっていい。オリンピック関係では第八回パリ、第九回アムステルダム、第十回ロサンゼルス、第十一回ベルリン、第十六回メルボルン、第十七回ローマに特派され、東京オリンピックの準備実行副委員長、最近では東京都体育協会長に選ばれた。欧米視察18回の記録を持っている。都議会議員として都政に力をつくし、スポーツ議員の第一人者。

【抱負】女子は初めての国際試合であり、勝つことよりも外国チームをよく見て将来の試金石としたい。行くからにはベストをつくし、正々堂々と悔いることのないゲームをする。

【略歴】北海道出身、明大教授、都立商大、日体大、東京女子体育大各講師、柔道七段、東京都議。著書、訳書多数。東京都杉並区在住。63歳。日本ハンドボール協会副会長

こわれて再び遠征

監督　高嶋　冽

監督　高嶋　冽

【横顔】日本ハンドボール協会の第一人者、それだけに敵も多い。しかし正面からこの人と太刀討ちできない。これはこの人の人徳だろう。戦後の球界をここまで持ってきたのは彼の努力である。思いついたらトコトンまでやりとげるという。戦前の名CFのファイトがいまでも残っている。長野県の松本中学時代は野球のレギュラーだったが、あまり単調なのでいやになったという。明大の吉田監督は「高嶋君の日体時代はすばらしかった。彼の強肩には舌を巻いたほどだ。中学時代に野球をやっていたのがプラスだった」と評している。JOC委員をやり、体協の青年将校とさえいわれている。二十四年に芝浦工大に迎えられてから力を発揮し、ついに芝浦工大の黄金時代を築き上げた。昨年のIOC総会でハンドボールが除外された直後、JOC委員会で滔々としゃべりまくり、体協関係者をあっと言わせたほどの弁論家。日本スポーツ界も一目おいている。

【略歴】長野県南安曇郡梓川村出身、現在東京都世田谷区深沢町二ノ五五に住んでいる。東京大学教養学部勤務、芝浦工大監督、41歳。日本ハンドボール協会理事長

女子コーチでは定評

ヘッドコーチ　北川　浩

ヘッドコーチ　北川　浩

【横顔】戦前は日体の名CHとして鳴らした。昭和17年11月の日独対抗、18年1月の第四回東西対抗にもCHとして大いに活躍した。協会の高嶋理事長、荒川日体大監督、宮崎元早大監督、若崎協会常務理事らと一緒にプレーをしたベテラン。戦時中はパイロットとして活躍、戦後は熊本市立高校に勤務し、〝熊本市立高校の黄金時代〟をつくり上げた人。熊本県がハンドボール王国になったのは、親友藤田八郎氏（熊本県協会理事長、熊本済々黌高校監督）との協力によるものである。いわばハンドボールの虫といっていい。理論実践家であり、女子選手の育て方では第一人者といわれている。性格は温和、校長先生の信用は絶大である。熊本県でハンドボールといえば、すぐ北川先生と名前が出るほどである。練習は厳しいが、生徒には愛情を持って教えている。

【略歴】熊本市京町2—260。日体大出、熊本市立高校監督、39歳。

大崎トリオの一人

コーチ　宮原　俊隆

コーチ　宮原俊隆

【横顔】ニックネームは〝バラ〟花のバラではなく、ミヤバラのバラ。名古屋の桜台高校の二年生のときからハンドボールに飛び込んだ。芝浦工大時代はLW、大崎電気ではRWをやっていた。一昨年の熊本国体で右ヒザを痛め、治ったかと思ったら昨年四月また痛めて現役から退き、女子監督におさまった。この故障が治れば現役に復帰すると張り切っている。大崎の竹野—宮原（俊）—宮原（藤）のトリオはピカ一。その日が一日も早く待たれる。芝浦工大の黄金時代を築き上げた名プレーヤー。服部（中部地方建設局、桜丘会）

と同期生。
〔略歴〕名古屋市南区宝生町出身芝浦工大出、大崎電気女子監督、25歳。

マネージャー　塩川安賢

女子選手養成ピカ一

マネージャー　塩川安賢

〔横顔〕芝浦工大時代は不運続きで、あまり目立たなかった。右ヒザ、左ヒザを痛め、三十四年秋にはアゴの骨膜炎でもっぱらベンチを温めていた。それだけに理論家であり、ハンドボールをよく知っている。大学時代の下積み生活が実を結び、高嶋理事長の推薦でレナウンの監督となった。ハンドボールを始めたのは関東学院（神奈川）の中学時代。（現在協会の常務理事をやっている若崎重富氏が恩師）。若崎先生に「ハンドボールをやってみないか」と言われ、関東学院の中学―高校―芝浦工大と歩んで球歴11年。芝浦工大を卒業したのが36年3月、同期生には山田（桜丘会）、田口（大崎電気）、福本（大崎電気）らがいる。レナウンの監督として大いに活躍しているが、女子選手の養成ではピカ一。社長の信用度も高い。「欧州へ行って外国の社会人チームの練習方法、オフシーズンの基礎体力をどうやっているを調べてきたい。外国女子チームの実力は未知数なので詳細に研究したい」と抱負を語っている。
〔略歴〕横浜市保土ケ谷区藤塚町41。芝浦工大出、レナウン工業本社監督、25歳。

研究員　亀岡成昌

技術研究員　龜岡成昌

〔略歴〕同志社大。前愛知紡監督28才。審判ならびに研究員。

主将　沢田勝子

球界の〝巴御前〟

主将　沢田勝子

〔横顔〕日本女子界のナンバーワンである。ハンドボールは10年目でやっと一人前といわれているように、球歴10年目にあたる。押しも押されぬ〝お姉さま〟である。身長はないがすばらしい体格をしている。どっしりしているのでたのもしい。愛称〝勝っちゃん〟だから世界選手権でも勝っちゃんぢゃないかな。ファイトの固まりみたいな女傑（あっ失礼しました）である。中学一年のとき担任の先生から「ハンドボールをやってみないか」と勧誘されたのがきっかけ。それまではソフトボールをやっていた。ハンドボールを始めたらおもしろくてたまらなかったそうだ。白い鉢巻してボールを持ったときの姿はさしずめ〝巴御前〟磯部さんとのコンビネーションはピカ一である。出足が鋭く、疲れをしらない。自分では「もう年寄り」とかいっているが、なかなかどうして。昨年度女子で初めて4大タイトルを握ったとき「この次は世界タイトルを……」と大した自信を持っている。
〔抱負〕走ることに重点を置く。年長者がしっかりしないとチームワークがとれない。みんなの模範になるよう努力し、得点されたらこれをすぐ返す力を身につけたい
〔略歴〕半田市有楽町在住、7人兄姉の末っ子。成岩中学―半田高出。愛知紡、157センチ、60キロ、22歳

副将　山田帆浪

鋭いゲームのカン

副将　山田帆浪

〔横顔〕岩手県花巻南高時代はバレーボールの選手として大いに活躍した。三十四年四月に日体大に入学、荒川清美監督から「ハンドボールをやってみないか」と言われて始めたという。球歴はことしで四年目。そのとき「GKをやれ」との先輩のお達しで、いつの間にかGKになってしまった。というのはバレーボールの選手はボールに食いついて行く。つまりボールを恐れないという利点を日体大の先輩が発見したからである。彼女の長所はプレーに対するカンがい。とくにバックがよくやってくれると実力以上の力を出す。欠点はノーマークにはちょっと弱い。それにあまりにも前に出るので両サイドが甘い。塩川監督は彼女のことを〝おばあさん〟と呼ぶ。東北人特有のねばり、人情味がある。「欧州へ行ったら外国のGKの動きをしっかり見てきます」と張り切っている。
〔略歴〕岩手県花巻市二枚橋に両親がいる。6人兄弟の4番目、36年4月レナウン工業に入社。166センチ、57キロ、22歳。

旗手　磯部昌子

愛知紡の秘蔵っ子

旗手　磯部昌子

〔横顔〕両ほほがいつもリンゴのように赤い。愛称は〝イソクン〟沢田さんとのコンビはすばらしい。男まさりの掛け声で、まず相手のバックスをおびやかしてしまう。あんな鋭い声がどこから出てくるのかと思うくらい。シュートといい、ダッシュといい、パスといい、すべての点ですぐれている。「イソクンがいるので、わたしはもう引退」と沢田さんがいっているように、愛知紡の至宝である。ふだんは実におとなしい性格だが、ボールを持つと性格が一変する。沢田さんと同じような動機でハンドボールをおぼえ、球歴も10年。毎日満員電車に揺られること一時間あまり。これが下半身を強くさせた。どんな場合でもシュートが打てるのが長所である。ただ防禦が甘いのが欠点とされる。
〔略歴〕愛知県知多郡上野町出身3人兄妹の2番目。160センチ、57キロ、21歳。

選手　宇井敬子

小柄だが斗志満々

宇井敬子

〔横顔〕昨年四月大崎電気に入社し、チームの中心選手。栃木女高時代もあの小さなからだで走り回り、つねにチャンスメーカーとして活躍、昨年一月の第七回全日本室内の準決勝で愛知紡を破る殊勲をたてた。みんなから〝ケコちゃん〟と愛され、チームの人気もの。からだは小さいが、ファイトは大きい。黄色い声を張りあげてチー

深津久仁子

ムを引っ張って行くところは「人間機関車」といったところだ。いつもエビス顔でかわいい乙女だ。長所はよく走ることと、ボール回しがうまいこと。得点力のある選手をもう少しうまく使うことが彼女の使命。これが欠点といえる。

〔略歴〕茨城県古河市東片町に両親が住んでいる。栃木市の親戚に寄留していたので越境入学。四人弟妹の長女。球歴はことしで5年目、148センチ、49キロ、百メートルは14秒1。大崎電気の主将。19歳。

いぶし銀的な存在　深津久仁子

〔横顔〕宇井と同期生。高校にはいってからハンドボールを始めたというからことしで5年目。童顔そのものである。いつも笑顔が消えない。上級生にすすめられたのが病みつきになったというから、ハンドボールの虫といってよかろう。バックが得意であるが、もう少し攻撃に積極さがほしい。ここ一発というところに鋭さがない。愛称は「フカちゃん」。大崎電気に入社してから腕を上げてきた。チームのなかでは「いぶし銀」的な存在、他のチームにとっては恐しい存在となっている。

〔略歴〕栃木県下都賀郡大平町出身。九人兄妹の末っ子。155センチ、55キロ、大崎電気勤務。19歳。

古谷芳枝

期待の試合度胸　古谷芳枝

〔横顔〕愛称は二つある。″おかあさん″、″よっちゃん″。左ほほのエクボがかわいい。中学時代に先生から「ハンドボールをやってみないか」といわれたのが動機、水海道二高にはいってからメキメキ腕を上げた。″スポーツは気分転換のためにやる″という。いまではボールを握らないと寂しいそうだ。高校一年生のとき、富山国体に出場してから自信を持ち、「決勝で熊本市高を破ったときは、飛び上がってよろこんだ」という。両親がないので家庭的にはめぐまれなかったが、ハンドボールを通じて強い意志をつくりあげた。試合になると度胸が出て、ハンドボールをよく知っている。カンのいい選手、ただルールを知りすぎてときどきミスをくり返すのが欠点。

〔略歴〕茨城県水海道市大輪に姉が住んでいる。158センチ、59キロ、19歳。ポジションはGK

田村うた子

得難いファイター　田村うた子

〔横顔〕水海道二高では古谷芳枝さんの一年後輩。本誌第8号の表紙を見ると、ボールを持ってシュートしようとしているのがこの″うたちゃん″である。高校にはいってから球歴はことしで4年目。水海道二高の全盛時代に活躍したラッキーガールといっていい。おかっぱ頭ではずかしがり屋、なにをきいても顔を赤くする乙女。ハンドボールを覚えてからはボールを持つのが楽しいという。水海道二高のエースであり、昨年の秋田国体では静岡城北高校を破って優勝した。攻撃オンリーで退くことを知らないファイター・ウーマンである。大崎電気の渡辺社長のお目に止まって入社した。

〔略歴〕茨城県水海道市大生郷新田町に兄が住んでいる。両親はいない。159センチ、56キロ。19歳。

防御は天下一品　黒川泰恵

黒川泰恵

〔横顔〕色は白いが、あだ名は″クロちゃん″という。朗らかな女性である。ふだんはすべて控えめだが、いざ試合になると猛烈なファイトを出す。どこからあのファイトが出るのか不思議である。この人は結婚したらさぞかし″よき世話女房″になると思う。4人兄姉の2番目、お父さんはいないが母親に育てられた。中学時代はバレーボール(HR)の選手だったが、スピード、動きがないのでつまらなかったそうだ。高校にはいってからハンドボールを始め、バスケットボールよりもスピードがあるので夢中になったとか。機関誌第8号の表紙の左端がクロちゃんである。昨年の秋田国体で2位になった。デフェンスは天下一品。「攻撃力を身につけたい」という。

〔略歴〕静岡市安東本町出身、静岡城北高校卒。158センチ、54キロ、大崎電気勤務。19歳。

恋人はハンドボール　西村八千代

〔横顔〕熊本市立高校黄金時代のエース。熊本県下の女子ナンバーワン、北川ヘッドコーチの秘蔵っ子である。愛知県の沢田、磯部、この西村のトリオは世界選手権で大いに活躍するだろう。熊本国体のときは右手首を脱臼しながら、負けん気を発揮して準優勝したほどのファイトを持っている。そのときは南国の強烈な日光を浴びて真黒に焼け、見るからにたくましかった。当時GKの西村美代ちゃんと仲が良かった。昨年四月大洋デパートに入社、いまではBGとして職場の人気者。高校時代のたくましさはなくなり、実におしとやかな肥後美人である。はきはきした態度、ボールを握ると猛烈なファイトが出てくる。熊本市湖東中学の二年のときにハンドボールを始め、ことしで7年目。それまではソフトボールをやっていたという。先生に「ハンドボールをやってみてはどうか」と誘われたのが動機。それいらい高校進学も熊本市立高校一本ヤリというから大したファイトを持っていたもの。高校卒後も「わたしの恋人はハンドボール。それ以外に生きる道なし」という。フリースローからの確実なシュートは有名。防御に帰るのがおそい。これが欠点といえる。

〔略歴〕熊本市保田窪本町出身、両親は健在。八人兄姉の末っ子。153センチ、55キロ、19歳。

西村八千代

竹本千恵子

男性ばりの強肩

竹本千恵子

〔横顔〕 不二家のトレードマーク「ポコちゃんペコちゃん」のポコちゃんによく似ている。だからニックネームはポコちゃんである。見るからに元気そうな淑女(?)。中学時代(富山)はバレーボールのHL、ポイントゲッターだった。有磯高校にはいってから「たまには変わったスポーツをやってみたらどうか」と先生に言われた。これが動機でハンドボールに首を突っ込んだ。「バレーボールと比べてスピードがあり、おもしろかった」という。いまではハンドボール狂。スローイングがいい。強肩のうえ手首が強い。男子のフォームに似ており、ステップ、タイミングがいい。足腰が強く、高校時代の基礎体力がしっかりしている。ボールに対する〃つめ〃が早くて正確なのが特徴。それだけに欠点も多い。プレーが正直すぎてシュートがまとも、むだな動きが多い。試合なれすればこの欠点はなくなる。「欧州へ行ったらコントロールがつくようにしたいし、これをしっかり勉強してきたい」と抱負を語っていた。

〔略歴〕 富山県高岡市太田に母親がいる。兄と二人兄妹。ことしの三月有磯高校卒業と同時にレナウンに入社。BG一年生。153センチ、55キロ、18歳。

太田美紀子

負けることはきらい

太田美紀子

〔横顔〕 典型的な秋田美人。雪国育ちでキメの細かい肌、色が白い。ことし三月秋田和洋女高卒業後レナウン工業に入社、「東京は西も東もわからない。ハンドボールがやりたくてレナウンにお世話になっています」と無理して標準語をしゃべる。「東京のことばを話すのはハンドボールよりむずかしい」というから大した度胸である。ハンドボールを知ったのは高校一年のときであり、球歴はことしで四年目。和洋女高はシツケが厳しい。言語動作はしっかりしている。「ハンドボールは動きが激しくて魅力がある」という。家は秋田県北部の大曲市、毎日一時間半も汽車に乗って通学した。「秋田では冬が長いので練習する場所がなく、ずいぶん苦労しました。その点東京はいいですね。わたしは人に負けることがきらい。上を向いて歩きます」。そういえば坂本九ちゃんによく似ている。ニックネームは〃九ちゃん〃という。東北人特有のねばり、ファイトがあり、ミドルシュートはすばらしい。ただ動き方、走り方をよく知らないのが欠点。「それだけに楽しみが多い」と塩川監督は成長を楽しみにしている

〔略歴〕 秋田県大曲市高関出身、両親は健在。七人兄姉の六番目。155センチ、57・5キロ、18歳

青木悠子

巧いボール回し

青木悠子

〔横顔〕 まずニックネームからいこう。〃ユウちゃん〃。これは同僚の篠崎さんの〃マコちゃん〃に対して。ユウちゃんは石原裕ちゃんに因んだもの。マコちゃんは北原三校というわけ。なるほどネ。成岩中—半田高出で沢田勝ちゃんの後輩にあたる。球歴は8年。中学のクラス対抗のとき「これはおもしろいスポーツだと思った。これが病みつきです」とはっきりいう。それまでは卓球の選手で大いに鳴らしたとか。本人がいうのだから間違いない。「ハンドボールのすべてが好き」というから大したものだ。スクーターで通勤しているというからハイカラである。長所はボール回しがうまい。欠点はシュートがちょっと雑である。高校一年のとき、インターハイ予選で稲沢高(愛知)に負けたときが、いちばんくやしかったとか。

〔略歴〕 愛知県知多郡武豊町出身。156センチ、51キロ、21歳。

篠崎益野

定評ある難球処理

篠崎益野

〔横顔〕 愛称〃マコちゃん〃である。お姉さんが栃木女高でハンドボールをやっていた。「わたしだってハンドボールぐらいできるわ」といったかどうか知らないが、そんな関係でハンドボールに籍を置いた。6人兄姉の末っ子で甘ん坊。エキゾチックな顔。パリあたりではモテルのぢゃないかな。「外人選手はからだが大きいので圧倒されそうだが、わたしはわたしなりにベストをつくす。体力に応じた守備をマスターしてきたい」と抱負をのべる。調子にのるとどんなボールでも取るのが長所である。ワンバウンドシュートと右下が弱いのが欠点。「ハンドボールはおもしろくてしようがない」というからごりっぱ。いまは寮生活。昨年4月愛知紡入社。

〔略歴〕 栃木県下都賀郡桑絹町出身。桑絹中—栃木女高出。159センチ、57キロ、19歳。

山崎鉦子

カンの良い理論家

山崎鉦子

〔横顔〕 バックスとしては最高のプレーヤといっていい。ボールカットの勘が実にいい。ただ防御本位に走りすぎて攻撃力に甘さがあるのが欠点。「外人は大きいし私は小さい。自分をフルに生かしてプレーしてくる」という理論家。球歴は8年、沢田さんの後輩にあたる。34年愛知紡に入社してからずっとレギュラーメンバー。山崎の山をとってニックネームは〃ヤマサン〃沢田—磯部に負けぬファイトを持っている。なにをきいても憶することなく答える。〃若さと美ぼう〃といったら叱られるかな。とにかく若さにあふれている。

〔略歴〕 愛知県知多郡美浜町出身河和中—半田高出。4人兄姉の次女。150センチ、49キロ、20歳

塚原米子

確実なシュート

塚原米子

〔横顔〕「先輩にすすめられてハンドボールを始めた。おもしろいというよりも、実にたのしかった。いまでもたのしい方がウエイトが大きいのです」……これが〃よねちゃん〃の第一声である。中学時代はバレーボールをやっていたが高校一年から始めたので球歴は6年。35年4月愛知紡に入社したが、母校水海道二高のゲームを見るのが楽しみという。おとなしい乙女である。サイドからのシュートが確実。防御は少し弱い。「こんどの遠征でハンドボールのすべてを勉強してくる」と。

〔略歴〕 茨城県水海道市中妻町出身、156センチ、57キロ、19歳

座談会　夢のチームでなぐりこみ

世界選手権大会を前に

出席者

ヘッドコーチ　北川　浩（熊本市立高校監督）
コーチ　宮原俊隆（大崎電気）
マネージャー　塩川安賢（レナウン）
選手　磯部昌子（愛知紡）
古谷芳枝（大崎電気）
西村八千代（大洋デパート）
山田帆浪（レナウン）
司会　鷲尾武治（共同通信記者）

鷲尾　こんど女子チームが初めて海外遠征する。いろいろな意味でみんな注目していると思います。とくに選ばれた十五人の選手はいずれも日本では一流の選手でもあり、監督さんも大先輩だというので大いに期待しているわけです。まず北川先生から世界選手権大会にのぞむ抱負を……

北川　こんどの海外遠征は、女子チームとしては試金石になるわけです。その意味からも、日本の女子チームとしては最高のメンバーを持っていくというのが大きな希望でした。なにしろ初めてなのでどういう結果になるかわかりません。とにかくこんご続いて大会に出場する方々に参考になるような結果を持って帰りたいと思っています。

鷲尾　日本の最強チームを持つのが夢だったそうですが、その点について。

北川　ここに集まっている人たちは、いろいろな大会で切磋琢磨して日本の女子ハンドボールを向上させてきた人たちなんです。こういう人たちを一つのチームとしてつくってみたら、日本の女子ハンドボールとしては、夢のチームができると思っていた。それがたまたま世界選手権に出場するということで実現したわけです。これは非常に大きな効果だと思っています。

磯部　チームの構成は、愛知紡が六人、大崎電気が五人、レナウン工業から三人、それに北川先生の教え子である大洋デパートの西村さん。これらの人たちはいずれも全日本で顔を合わせています。

北川　このメンバーでチームをつくってチームワークがとれなかったらみじめでしょうね。しかし結果論として完全なものができなくても、いまのところ日本の女子ハンドボールとしての最高のものができると思います。

選ばれてビックリ

鷲尾　選抜されたことをだれから聞いた？

古谷　社長（大崎電気）さんからです。

北川　どうだった。そのとき……。

古谷　ガタガタふるえちゃった……（笑声）。

磯部　私たちの場合は新監督から聞いたんです。

山田　私は監督から話を聞きました。ピンとこなかったんです。

鷲尾　カンが悪いなァ……（笑声）。

山田　うれしいというより不安な気持でした。

北川　どうして不安なの？

山田　全然知らないところでしょう。それに日本の男子とやるようなものですから……。

西村　いま山田さんがおっしゃったように日本の男子チームとやって勝てなければね……。

古谷　西村さんはだれから聞いたの？

西村　監督さんからです。ちょうど休みだったのですが、バレーボールの監督さんから『井君がちょっと話したいことがあるそうだから電話をしてみろ』といわれました。もしかしたら叱かられるんじゃないかと思って電話をしたら、その話だったんです。最初はびっくりして『ウソでしょう』いったんですが……。そのときはものすごくうれしかつたんです。

鷲尾　前から行きたい、行きたいといっていたものね（笑声）。

西村　でも、いまはその責任の重大さに恐ろしい感じです。

鷲尾　ぼくが、たまたま高嶋理事長さんのところへ行ったら、ちょうど熊本市立高校の校長先生あてに申請書を書いていました。『北川先生が行くのか』ときいたら「そうだ」ということでした。それはいいことだと言ったことがあるが……。

北川　最初西村だけが決まった。これは大変だということでハンドボールの卒業生の歴代キャプテンを集めて『西村が決まったから壮行会をやる世話をしなければいかんぞ』といったんです。みんな大いにやりましょうということで、その趣意書は先生に頼むといわれて頼まれたわけです。私も張り切って書いていたところ、高嶋さんから電報で七時に電話をしろといってきた。高体連の韓国遠征のことだと思っていたんです。そうしたらわたしに行けとの話でしょう。またキャプテンを集めて……（笑声）

鴛尾　こんどはわたしが行くんだと……(笑声)。

北川　わたしのことになってしまったから、この趣意書は返えすといって…(笑声)

鴛尾　磯部さんはハンドボールを始めて何年になるの。

磯部　足掛け十年です。

山田　十年というとこのなかでは大先輩です。

鴛尾　その経験を生かしてもらいたいというのがぼくらの希望です。いろんなチームの選手たちと一緒にやっていくことについて、先輩としてこうやっていきたいという希望があると思うが……。

磯部　選ばれた十五人はいままで大きい大会に出ていろいろ訓練されてきています。あとは自分がどんなに苦しい立場にたってもいままでの経験を生かして、みんなのなかにとけ合って人の和をつくっていけばチームワークは完全にできると思います。いままで長いことやってきたのですから自分のクセが出るかもしれません。それをいい方へ、いい方へと向けていったら、先生たちが夢に見ておられたいままでの全日本チャンピオンチーム以上のチームができると思います。いろいろなチームから選抜したのですから不安は全然ないと思います。最初は走り方一つにしてもそのチームのクセが出てくると思いますが……。

鴛尾　山田さんの抱負は……。

山田　全然未知の世界に行くという感じです。私たちが第一回として行くのですから、来年、再来年に行く人たちのためにも向こうの技術を大いに学んできたいと思います。

外国チームをよく見る

鴛尾　大会に出場する前に一番先きにやるのはなんですか。

北川　選手をつかむことです。いままでどんな練習をしていたかということ。たとえばシュート一つするにしても、7メートルスローするにしても、各チームの監督さん方がいろいろなことをいっているはずです。新らしく一つの大学のチームをつくるわけではないので、フォームの矯正のところまでいかないと思います。ただいろんな形の違った宝石があるわけです。それをうまくつなぎ合わせて一つのネックレスにつくり上げる。同じ色ばかりそばにおいてみても、そこだけに焦点が集って全体の調和がとれない。まずどういう石っころであるかを見極めることが、最初にやることだと思います。それをこんどはどういうふうに使かうかということは、各チームの監督をやっているコーチの方々が一緒に練習しますから、案外早いのではないかと思いますが。

鴛尾　宮原君と塩川君から抱負を聞かせてもらいたい。

宮原　急に聞かれてもピンとこない。僕らがいくらそういうことをいってもわからないですよ。はずかしくないような試合をやってみたいと思う。

塩川　結局技術面だったら比較にならないと思う。向こうの試合における形式、たとえば速攻とか、また速攻の中にもいろいろあると思います。そういう形式など見てきたいと思っています。またドイツ、ルーマニアなど性格の違う国の実業団のあり方をよく比較検討すれば、こんごの日本における実業団のあり方というのが出てくるんじゃないかと思います。それとシーズンオフにおけるトレーニング方法などそんなのが意外に重要じゃないかと思っています。あとの個々のプレーについては、選手諸君は一流中の一流のプレーヤーだからほおっておいてもおぼえてきてくれると思います。

大きい欧州の女子選手

宮原　初めての海外遠征、世界選手権出場で外国チームの知識についてはゼロに等しい。北川先生はかなり世界の女子のことは調べ上げていると思いますが、最近の欧州の選手についてなにか新らしいものがありますか……。

北川　ハンドボールではありませんが、ちょっと体育医学研究書を調べてみました。それによると欧州の女子の基礎体力というのが、日本の男子とあまり変わらない。身長、体重などは、むしろ日本の男子を上回るような体格をしている。それにヨーロッパ地方のお家芸ともいうべきハンドボールの技術をともなっていると思います。日本のチームが欧州のチームに立ち向かって行くには、向こうの持っていないものをつくり上げて行く必要があると感じています。

塩川　最近の欧州のチームの資料というものはほとんどないといっていいくらいですね。

北川　それがあっても、日本とゲームをやっていないから、全然比較ができないわけです。

西村　男子のように西ドイツとか、ルーマニアがきていれば打診もできます。結局未知数ということなんです。さっき北川先生が言ったように体格が違うというので、どれだけわたしたちがやれるか、ちょっと困っています。

北川　体力負けですよ。体力だけで割切るなというが、柔道の世界選手権で優勝したヘーシング（オランダ）なんか相当な体力ですからね。結局体力を認めざるを得ない。

磯部　いま先生のおっしゃった体力のことですが、向こうの選手の身長は172センチ、肺活量は4200ということです。攻めていっても物すごい厚いカベにぶつかってはね返えされる。これを繰り返えしているうちに時間がすぎてしまうゲームになるんじゃないかと思います。

古谷　大きいというのは聞いていますが、どんなものか想像がつかないんです。ほんとうは困っているんです(笑声)。

山田　やはり走らなければいけないと思います。

北川　その点は昨年男子が遠征したことが大いに参考になりますね。

勉強第一主義で

鴛尾　参加国はデンマーク、ドイツ、日本、ユーゴ、ポーランド、ソ連、チェコ、ハンガリー、ルーマニアの九チーム。三つのブロックに分けて三チームづつのリーグ戦だと思うが……。

北川　正式な日程がわかりませんが、二試合はやるでしょう。

西村　ルーマニアの男子チームを見て女子のチームを想像すると、かなり強いんじゃないかと思います。

カット写真は北川ヘッドコーチを中心に左から古谷、磯部、山田、西村各選手。

古谷　わたしもそう思います。

北川　ハンドボールは欧州のゲームで、その本場に乗り込むわけですから、やはり勉強第一にならざるを得ませんね。

西村　初めての大会だから勝つことも大事ですが、本場のハンドボールをよく見たり、聞いたりしてきます。

北川　なんどもいうように、こんご日本がこの大会に出場する場合、どういうチームを持っていけばいいか、もっと力の強いチームでなければダメなのかというように、具体的なものをみやげとして帰ってきたら最高だと思う。

山田　ヨーロッパではハンドボールが盛んですし、女子のチームもみんな大きい。日本のハンドボールを見ると総体的にいって小さい。大きい人はバスケットやバレーボールの方にとられてしまって……。世界の仲間入りをして選手権を争うことになると、やはり体力がものをいうようになると思います。そのために身長のある選手を掘り出すこともこれからのわたしたちの仕事でもあるわけです。

西村　やはりバレーボールとかバスケットをいうようなゲームを見ると、身長のあるものが有利であることははっきりしています。ハンドボールもその点フィールドより、室内で競技をすれば見方が変わってくると思います。

残留組と仲良く

鷲尾　現在愛知紡の選手は十一人ですか

磯部　十一人です。

鷲尾　ぼくは第三者として非常に心配することがある。わずか十一人のなかで六人選抜された。残った五人がヒガミ根性というか、あんた方が帰ってきてからすぐ全日本総合があるでしょう。そのとき遠征組と残留組の人たちとの間に、イザコザができると困ると思う。その点どう考えているの……。

磯部　わたしらの方は会社の方からいろいろ話してくれますし、監督さんも残ってわたしたちの留守の間、一緒に練習をするということで納得してくれました。

古谷　大崎電気やレナウンの場合もそうですが、残ったチームの人の分までがんばってきます。

鷲尾　高校生の現役が一人もいないということは、ちょっともの足りないね。

北川　休みにはいっていませんから、学校としても文部省あたりがうるさいから時期的に見て無理でしょう。

山田　男子高校チームが韓国に遠征しますが、九月にかかるんでしょう。

北川　ちょっとかかります。協会としても理事会にこの問題をはかったが、高校生が海外遠征で二ヵ月間も学業をつぶすわけにはいかない。やむを得ず実業団だけで行こうということが決まったんです。

塩川　ルールが変わった。昨年男子チームが帰ってきて、高嶋さんが一番先にいったのは日本のチームは反則が多い。向こうは反則がない。試合そのもののスピード化をはかって反則もきびしいし、選手自体も反則しないよう心がけている。というより反則はしてはならないのだという上に立ってゲームをやっている。それでこんどのルール改正にふみ切った。改正して日も浅いし、ぼくらも大いにルールを研究する。

北川　その点についてはコーチの人たちといろいろ相談して練習の方法を決めなければならないと思う。欧州ではかなりきびしい。いままで日本でやっている反則は非常に多い。それもフリースローになってしまうのだが、こんどは7メートルをとられるし、2分間退場などと数が多くなる。

宮原　僕は関東大学リーグ戦でレフェリーをやったのですが、去年の秋に吹いたとき、こんど見てかなり反則がきびしくなっている。とくに14メートルが多いでしょう。女子の場合もいままでより反則はきついようです。いままでハンドボールはスピーディだったのが、そういう反則によって中断されるのは、試合が小間切れのような形でおもしろくない。いままでは反則してもアドバンテージでとっていたが、こんどはすぐ7メートル、退場ということになる。まあ過渡期にあると思うが、リーグ戦をみて感じた、そういう意見が多いようです。

西村　世界選手権に行ったら、去年の男子の世界選手権並みに反則をびしびしとられるのかしら？

北川　とられますよ。しっかりやってくれ。しかし技術だけはあげてくる。

女子のレフェリーを

鷲尾　こんど十五人行くでしょう。そのなかから将来一人か二人、ハンドボールの女子レフェリーを出してみたいですね。やってみる気ないか。(と女子選手を見渡す)。その点愛知紡の磯部さん、日体の山田さんは適任だと思う。バスケットで愛知県に矢田さんという、女子のレフェリーがいます。男子のゲームとか大学のゲームを吹くんだよ。これは大したもんですよ。どうです、女子のレフェリーというのは。

塩川　いいことですね。いままで女子の方は実業団がなかった。高校を卒業するとゲームをやる機会も一年に一回くらいで、国体の前に集まってやるのが精いっぱいだ。だからこれからの人はおそらくそこまでいくんではないかと思う。

鷲尾　この十五人のなかから出ると思う。いままではせいぜい記録だけだ。それもいい加減で、シュートが6で、得点が12というのがあった。(笑い)どう考えてもおかしい。

宮原　レフェリーをやる以上はルールをおぼえていなければならない。お嫁に行ってもできる。(笑い)。大会に出てきてやればいい。熊本の新聞見ると『審判西村』なんて書いてあったらかなりの進歩ですよ。

北川　お嫁に行くから名前が違うかな(笑い)。

西村　わたしは行きません。ハンドボールが恋人だから。

古谷　それほんとうなの (笑い)。

全日本総合が楽しみ

北川　帰国してから全日本総合の前にオープンゲームをやる時間がほしい。おみやげとしてはおもしろいのではないかと思う

鷲尾　八月の一日に帰ってきて八月の下旬でしょう。そのときは愛知紡、大崎電気、レナウンが出場したら、去年よりはさらにいいゲームが見られると思うが。

古谷　大いに見られますね。楽しみです。

北川　愛知紡はがんばらなければいけない。反則ゼロという試合をやらなければ――

鷲尾　とにかくベストをつくしてください。

西村　大いにやります。大和なでしこですもの。

古谷　はずかしくないように……。

山田　上を向いて堂々と。

磯部　全力を出してやります。負けても泣かないように……。

鷲尾　ご健闘を祈ります。

一同　ありがとうございます。

女子国際選手を生んだ背景

共通する〝会社側の熱意と理解〟

世界選手権に出場する日本の女子チームは、すべて実業団チーム所属の選手ばかりである。

一昨年あたりからハンドボール界に実業団の台頭がめざましく、男女とも国内のトップレベルにランクされる強チームが相次いで誕生した。特に女子界では二、三年前までは海外遠征はもとより、国際試合の実現でさえ考えられなかったことである。まして選抜チームがオール実業団などということは、夢にも思わなかったことである。そこで「国際選手を生んだ背景」をちょっとのぞいてみることにした。

愛知紡績

国内女子界最初の実業団チームであり、創設いらい五年間全日本選手権に優勝した日本最強のチームである。

全日本総合五連勝、全日本室内優勝一回、国体優勝二回、全日本実業団優勝一回とビッグタイトル獲得数でもすばらしい記録を持っている。このチームは昭和三十二年、半田高（愛知）のOGを主力に生まれた。

小杉社長をはじめ会社の熱意と選手の努力で栄光の道を歩みつづけ、昨シーズン女子チーム初の四大タイトル獲得の偉業を樹立した。今回の海外遠征には単独遠征の話もあったほどである。各選手の技術的な優秀さはもちろんだが、チームに対する会社側の理解と意欲は見のがすわけにはいかない。

大崎電気工業

同社の男子チームはすでに全国ナンバーワン。多数の好選手を有しているが、女子チームは昨年四月創設したばかり。実力的には男子のようにはいかないが、近い将来かならずや女子界の最高位につくことになろう。

というのは渡辺社長が描く『男女同時の全日本選手権獲得』の夢が実現するまで、全国にまたがる積極的な選手補強工作が続けられるから……。

今回の遠征にもコーチングスタッフに監督の宮原俊隆氏（芝工大出）を送り込むなど、打つ手も抜け目ないだけになおさらその感が深い。

熊本大洋デパート

このチームもことし二年生、それでいて高く評価をされたのは、その構成メンバーが優秀だからである。

熊本の女子ハンドボールが確固たる基盤を築いたのは、熊本市高が全日本高校に優勝し、さらにそのメンバーが中心となった熊本ク、熊本商大クが全日本総合室内で連続優勝してからである。

熊本大洋デパートはそうした高校、大学で場数を踏み、しかも定評のあるプレイヤーを集めてチームを編成した。山口社長も東日本勢に対抗する強チームとなるよう力を入れている。

まだ全国タイトルの経験はないが、これは熊本という地理的条件の不利のために、大会参加が思うにまかせぬためとみてよい。

女子界では珍しくも速攻一本やりのチームであり、ことしあたりは真価を発揮してほしいという声が高い。

レナウン工業

東京本社、立川工場（東京都下）大阪工場と三つのチームを一年の間に結成したのだから、この会社の打ち込み方は大変なものがある。

しかも三チームともその陣容は東西の名門高校のOGをそろえ、この三チームでリーグ戦をしても相当なレベルの試合になりそうだ。

鈴木社長はいずれかのチームに愛知の成し遂げた女子四冠王の夢を託し、あわよくばベストスリー独占さえもねらおうという意気込みだ。そうなればハンドボール界に限らず国内スポーツ界でも、その例を見ないだけに注目を集めることとなろう。

監督の塩川安賢氏（芝工大出）の若い情熱は、会社の期待と理解にこたえるものである。今後のこのチームの動向は確かに注目すべきものがあろう。

背景の共通点

どのチームも社長が陣頭指揮に立って会社全体に応援意欲が盛んであること。有名高校、有力高校の新卒業生を集団入社させ、チームの母体を造るとともに、一挙に全国上位のチーム編成をとるという〝インスタントな誕生〟。

創設の動機が愛知紡(小杉社長)は半田市長の、大崎電気（渡辺社長）は高嶋協会理事長の、大洋デパート（山口社長）は熊本協会藤田理事長の、レナウン(鈴木社長)は渡辺大崎電気社長の、それぞれ内輪の懇請と説得が因となっている。会社のPRよりも、社内の明朗とレクリエーション的見地にその結成動機があることなどである。【黒尾 武】

韓国高校の現況

今夏、全日本高校選抜チームが韓国に遠征し親善試合を行なうが日本チームの訪韓は、戦前の早慶連合、昨秋の日体大に次いで三度目。高校チームの遠征は始めてで、しかも、国内で、高校の選抜チームを編成したのは今回が最初であり、その成果が注目されている。

さて韓国の高校ハンドボール界だが、その歴史は古く、昭和十五年「朝鮮送球協会」が誕生した直後に、女子の培花女高や、男子の晋成中学がチームを結成しており、我国とほとんど同じにスタートしている。

現在では全国に男女合わせて約二百五十校チームがあり、このうち70パーセントが男子チームである。

年一回、高校の選手権大会が行われており、この大会には男子十八チーム、女子チームが参加するが、そのレベルは、日本の高校界より幾分落ちるのではないかと想像され、昨秋、日体大が訪韓した際の韓国学生（大学）チームとのスコアから推しても、この予測は、はずれてはいまい。

全日本総合選手権

男子 大崎電気初優勝か
愛知紡(女子)の6連勝濃厚

第十四回全日本総合選手権大会は8月19日から23日まで山口県下松市(男子)、徳山市(女子)の二会場で開かれる。下松、徳山両会場はバスで15分の隣接都市であり、来年の第十八回国体ハンドボール会場として準備を進めている。男子はことしから予選制度を採用し、最小は26チーム。最大32チームとなり、女子はフリー参加である。

男子

前年度のベスト4である芝浦工大、大崎電気、桜丘会、全日体大は推薦チームとなる。学連からは関東から法大、日体大、早大、立大、慶大あたりが出よう。明大は春のリーグ戦で最下位だから、いまのところ推薦でもされない限り出場はむずかしい。ことしの本命は大崎電気である。それはなぜか。4連勝をねらう芝浦工大が春のリーグ戦で越智の故障、光村ひとりに頼るような状態。もし大崎電気―芝浦工大の決勝戦となると、ことしはメンバーに異動のない大崎電気有利となってくる。竹野―宮原(藤)―小谷内―金田―井上のFWは日本一である。だが芝浦工大も見捨てたものでない。春の松本合宿を見たとき、昨年よりもさらに強力になっているからである。関東学生リーグでは不覚をとったが、王者の貫録にふさわしいゲーム運び、ファイトを持っている。ポイントはCFの北村をどううまく使かうかだ。バックスが弱いからといって北村をバックスに加えるようなことになると、北村の疲労度を増すのみだ。それに金山、福島の奮起が必要。それまでに越智が全快して出場したら、大崎とのゲームはおもしろくなる。大崎はまだいちども全日本総合のタイトルを握っていない。ことしのこの大会にすべてをかけているから好ゲームが予想される。この二チームを除くとまずドングリの背くらべといってもいい。ただ全日体大がどこまでやるかだ。桜丘会にしてもおなじことがいえる。高村(関大出)が家業の都合で練習不足だし、はたして大会に参加できるかどうかも疑問だ。服部(芝浦工大出)、山田(芝浦工大出)がいたとしても、最近はチームとしての練習も不足がち。愛知県室内大会(2月)で中京大に11―9と敗れており、これがショックとなって士気があがらないといわれている。それよりも関東学生リーグで大いに活躍した立大、法大のプレーが楽しみである。立大は勝監督の努力が実を結んで、昨年にくらべ長足の進歩をみせている。まずダークホースといったところだ。関西学生は桃山学院大、関学、同志社大が参加すればかなりやれると思う。しかし関東のチームにくらべやや落ちる。中京大がいちばん注目される。いまの中京大の実力はちょっとあなどりがたい。関東、関西学生のチームもかなり苦戦するのではなかろうか。この大会でぜひ出場してもらいたいチームは宗形製作所(大阪府高槻市)、岡野バルブ(門司市)、丸紅飯田(大阪市)、住友化学菊本(愛媛)の実業団チームである。宗形製作には芝浦工大出の平川、川辺、鷹見がいるし、丸紅飯田には慶大出の松本、牧村、井狩、東大出の矢

～第13回全日本高校各地区代表を探る～

	男子 第一候補	男子 第二候補	女子 第一候補	女子 第二候補
北海道	函館中部高	函館工	室蘭清水丘	函館中部高
青森	青森高			
秋田	湯沢北高	大曲高	和洋女高	六郷高
岩手	盛岡一高		花巻南高	
山形	山形東高	寒河江高		
宮城	古川工	仙台商	涌谷高	宮城三女高
福島	安積高	福島高	小高農蚕	緑ヶ丘高
群馬	桐生工	富岡高	高崎市女高	前橋市女高
栃木	足利工	石橋高	栃木女高	足利女高
埼玉	浦和市高	大宮高	熊谷商工	深谷女高
茨城	土浦工	笠間高	水海道二高	太田二高
東京	神代高	墨田川高	桜水商	菊華高
千葉	佐原高		佐原女高	
神奈川	鎌倉学園	慶応高	平塚江南高	大津高
山梨	塩山高	日川高	山梨高	
静岡	清水高	清水東高	静岡城北高	清水女商
長野	屋代東高	上田高	北農高	上田城南高
愛知	桜台高	一宮高	稲沢高	名女商
三重	四日市工	四日市商	津女子高	暁高
岐阜	加納高	岐阜商	大垣南高	加納高
新潟				
富山	氷見高		富山女高	
石川	小松実業	金沢市工	羽咋高	金沢商
福井	福井商	高志高	高志高	
滋賀	彦根工	八幡商	彦根西高	八幡商
京都	洛星高	西京高	京都女子高	明徳商
和歌山	和歌山商	和歌山工	那賀高	
奈良	添上高	奈良育英高	添上高	郡山高
大阪	寝屋川高	三国丘高	寝屋川高	梅花学園
兵庫	兵庫工	兵庫高	尼崎高	甲子園学院
岡山	操山高	天城高	井原高	倉敷青陵高
広島	修道高	盈進商	呉三津田高	山陽女高
山口	徳山高	下関幡生工	徳山高	
香川	高松一高			
高知	土佐高	弘岡農	高知西高	
愛媛	新居浜工	今治工	新居浜東	今治西高
熊本	熊本市商	済々黌	菊池農蚕	熊本市高
大分	臼杵高		中津南高	
鹿児島	鹿児島工		加治木高	
福岡	小倉工		明善高	
福岡	博多工	香椎高	筑紫中央高	
推薦	中京商	(愛知前回優勝)	半田高	(愛知前回優勝)

島がいる。どのていどの力があるか楽しみである。地元のチームの奪起も期待したい。

女子　世界選手権に15人が参加、愛知紡6人、大崎5人、レナウン本社3人、熊本大洋デパート1人。ハンドボールの本場でみっちり研究したこの4チームのなから優勝チームが出る。第一候補はやはり愛知紡といっていい。沢田、磯部らの主力が健在だし、半田高の早川が入社してかなり強力、攻撃力といい守備といい、非の打ちどころがない。まず愛知紡の6年連続優勝とみていい。愛知紡の6連勝をはばむチームとしては熊本大洋デパートが有力、西村ー久連松ー山口ー徳永のコンビネーションはかなりいい。昨年の決勝で顔が合い。延長のすえ8ー6で惜しくも負けている。大洋デパートは〃打倒愛知紡〃を目標に、この一年間練習に練習を重ねてきた。井監督の作戦が実を結ぶかどうか。大崎電気も部員が増え、総合力は愛知紡、大洋デパートにくらべ、少しも見劣りしない。連日男子チームとの合同練習で昨年よりも厚味が出てきた。レナウン本社は二年目のチームとしてはかなりやれる。山田（日体大）、それに新人の太田（秋田和洋）、竹本（有磯高）の三人が主力、塩川監督の力の見せどころである。レナウン大阪、レナウン立川の初参加がみもの。学生界から日体大が出るとベスト4に残るかもしれない。一月の全日本室内総合のときにみせたファイトに期待したい。地元の徳山高も見のがせない。（柏戸）

—全日本高校選手権—

四連勝ねらう中京商

女子半田高弱体で混戦状態

第十三回全日本高校選手権大会は七月二十九日から六日間、福岡県小倉市で全国の代表が参加して行なわれる。

年ごとに予選に加わるチーム数も増え、充実した大会を展開している。ことしは男子の韓国遠征があり、参加チームの意気込みも一段と高いだけに例年以上の熱戦が期待されよう。

現在のところ、代表はおろか各県とも予選さえも開始されていない。本大会の情勢をうんぬんするのはあまりにも早いが、昨夏以降の新人戦、春季大会などの記録を中心に、本大会へ出場する顔ぶれの予想と大会の優勝候補をさぐってみた。

前回優勝校の近況

大会の焦点は男子では、中京商（愛知）の〃四年連続優勝成るか〃にある。ずばりいってことしも中京商は強い。

昨年のメンバーからFW餅原、深谷ら六人が抜けたが、GK牧、FW渡辺、FB近藤といった攻守の要が残っている。特にFW陣のダッシュの利いた攻撃法は相変らず高校放れしたものを感じさせる。しかし、なんといっても中京商の強みは基礎体力、基礎技術の確実さにある。

これは練習時間の大半をそれに当てる宇津野年一コーチ（日体大出）の徹底した指導方針によるところが大きい。中京商以前に全盛を誇った桜台高、あるいは清水商はこの基礎体力のすぐれていた点では共通している。

技能派チームによる中京商打倒はまず考えられない。今大会も〃中京商のスピード〃を突き破ることが男子部門の争点となろう。

一方女子の半田高は中京商に比べて、連続優勝を狙うにはあまりにも悲観的な材料が多い。

『連続優勝はおろか、前年の優勝校としてはずかしくない試合をするのが精いっぱい』と林藤吉前監督（日体大出）はいっている。ことしの半田高の悩みである。その最大因は、優勝メンバーから二人（GK水野、B村松）を残して全部卒業した。今春新入生を迎えるまでは総勢六人という状態で、つい先ごろまでことしのメンバーを編成できなかったことだ。

現在ようやく十三人の部員をそろえたものの、優勝キーパーの水野をフィールドプレィヤーにコンバートするなど苦しい布陣である。しかし、GK杉江、RW森ノ内（昨年活躍した森ノ内の妹）といった素質のある新人が多く、特に森ノ内は新人放れしたセンスを持っており、早くも得点源になっているほどだ。大会までの二ヵ月にどれだけ伝統のセットオフェンスを新チームがマスターするか。これがことしの半田高の活躍のカギとなる。

その他の有力校は？

推薦二校の近況は以上のようなものだが、その他各地区の出場候補は大体別表の通りのようだ。

このなかから優勝候補として前評判の高いものを拾うと、男子では兵庫工、寝屋川高、桜台高、小倉工の西日本勢。それに神代高、盛岡一高、清水商の東日本勢。

いずれも「目標は中京商」といっている。特に県大会でたびたび中京商を破りながら全日本で二年続けて苦敗している桜台高、昨秋の国体優勝校兵庫工、近畿NO・1の寝屋川高の三高は、中京商の四連勝をはばむ最大のホープである

盛岡一、清水商、熊本市商といった昨年の上位校や、地元開催で張り切る小倉工などがそれに続く第二陣といえる。

都会的なプレーを身につけている神代高、鎌倉学園、洛星高などはダークホース。大阪の第二候補の三国ヶ丘が寝屋川に代わって出場するようなら、これも当然優勝戦線に加わる実力校である。

このほか初出場をねらう浦和市高（埼玉）、名門足利工、新居浜工。進境著しいと伝えられる加納高、和歌山商も調子の波に乗ればこわい。徳山高、修道高の中国勢もあなどれない。

寝屋川、稲沢の復活

女子は半田高の弱体で実力が接近し、史上未曾有の混戦状態といっても過言ではない。だが大会はこれまでの例で近畿・東海勢のチ

ームが焦点となって進められよう。その中で特筆されるのは古豪寝屋川高、名門稲沢高の目ざましい復活である。この両校のほか全国優勝三年計画の三年目を迎えた菊池農蚕、名門尼崎高などの実力はまさに紙一重。白熱した好試合の期待は、むしろ男子以上のものがある。

寝屋川、稲沢はともに高校女子界を代表する伝統ある名門で、全国優勝の歴史も持っている。稲沢は、半田高の蔭にかくれていたためその登場は久しぶり。しかも春の愛知大会決勝で半田高を12―6で大破している。寝屋川も五月の近畿大会で、大谷高、梅花学園を破ってNO1となっている。前評判を総合するとまずこの両校が優勝候補の最右翼のようだ。しかし新進菊池農蚕の実力も前評判が高く、熊本市高を目標にここ一、二年練習に、練習を重ねてきた、近畿東海勢もゆだんは禁物である。

その他は相変らず常連校である栃木女高、静岡城北高、羽咋高、涌谷高、井原高、水海道二高、山梨高、徳山高、明善高、京都女高らが伝統の強味と根性で優勝戦線に加わることになりそうだ。女子はまたクジ運次第で予想外のチームの上位進出が考えられる。そうした波乱の目は秋田和洋女高、大垣南高、高崎女高あたりではなかろうか。（杉山）

全日本学生選手権

本命なく波乱は必至

芝浦追う日体、関学、中京大

(今)年は、関東学連が生れて、二十五年目。わずか四校で発足した関東学生リーグを母体としたわが国の学生界が、今日では全国の五十を越すチームをかかえる文字通り日本ハンドボール界の主流にまで成長したのは各校関係者のなみなみならぬ努力の賜である。

その年、奇しくも全日本学生選手権(インター・カレッジ)が東、西学連の運営の手を離れ、はじめて地方学連の手によって運営されるのも学生界の発展と成長を物語るもので、しかもことしから、新設定の全日本総合出場の学生部門予選(ベスト八校が出場権獲得)を兼ねており、試合を離れても、七月二十二日から五日間にわたって仙台市で展開される今年の全日本学生選手権はいくつかの〃意義〃を見出すことが出来る。

さて大会の内容だが、これまた未曾有の混戦模様とかで球趣一しお高まるものがある。

(昨)年までのこの大会は芝浦工大(関東)の独り舞台で、戦う前からその優勝が絶対視されるという状態だった――事実芝浦工大は、第一回大会の二回戦で山口大に勝って以来昨年までこの大会で18戦18勝。四年連続優勝と云う実績を残して来た。――しかし、その芝浦工大の攻守が他校にはっきり差を見せるほど鋭さがなく、関西の雄関学も、また昨大会四位となり卒業生の一人もいなかった中京大もそれぞれ前評判は高いものの、もう一つ、安定感を欠き、毎年この大会の有力候補に名をあげられる関東の上位校も、今春のリーグ戦でルール改正も手伝って揃って乱調で、本命なしの波乱必至という最後まで予断を許さぬ激しい試合の連続となりそうだ。

(春)のリーグ戦の成績から推せば優勝候補と目されるのは、芝浦工大、日体大(関東)、法大(関東)、中京大、関学(関西)あたりであろう。五連覇を狙う芝工大は、大型チームの完成を目ざし、北村、越智、金山らのFW陣は確かにスケールの大きい攻撃を見せるが、反面巧味を欠き、それが関東リーグで日体大に一敗地に敗れ、立大、早大らに食い下られる因となっている。

とくに日体大戦は雨中戦とはいえ、後半、零封されるという拙い試合ぶりで、このようなことはこの四、五年芝浦工大にはなかったことだけに、その感が深い。

大会までに、どこまでこの点が研究されているかが五連覇の成否のカギとみられるが、その地力は、やはり学生界だけに、優勝候補の最右翼であることは間違いない。

最近数シーズン不調をかこっていた日体大の今春来のカムバックぶりも鮮やかでさすが名門である。

伝統的な試合運びのうまさは定評があり、栗山、河上、北山を主力のFWは技では芝浦工大を上廻るものがある。バックスもベテラン蓮井を中心にまとまっており、リーグ戦で芝浦を降した自信も大きな〃戦力〃であろう。

法大を優勝候補に推す見方には異論もあろうが、もともと、守備よりも豪放な攻撃力を特色としていただけに、バックスにきついといわれる今春のルール解釈がそう影響しないばかりか、かえって戦いやすくしている。春の関東リーグで尻上りの好調を示し、昭和二八年秋以来久々の三位に気をよくしている後だけに、エース吉村以下調子の波にのれば優勝を狙える実力は充分ある。

一方、関西勢では、戦力低下をいわれながらも関学が西日本学生、関西リーグと好調を示しているのは貫録だ。村田、藤井らベテランの奮起もさることながらGK石田、CH籔田CF下宮本と云った重ポストに起用された新人が予想以上の働きを見せているのが大きい。

(こ)うした東西の古豪の間げきを狙って優勝へ虎視たんたんなのが中京大である。

チーム結成以来四年目、メンバーが不動のこと、昨大会四位のメンバーにさらに若干の補強があったことは強みで、とくに学生界の代表的FWに成長した羽上田をエースに、伊藤、杉本、馬場らの攻撃力、森川、都築らの守備力はトップ・レベルにある。ただ春の東海大会で岐阜大(東海)に勝ったものの苦戦を強いられたようにこのチームは案外、思わぬチームに足元をすくわれるモロさが残っている。これら各校を激しく追う優勝争いの第二陣は芝工大と延長の熱戦を演じ、実力ある新鋭を揃えた立大、昨大会準優勝校で、FWに大脇・有留ら巧者を持つ中大、鳥井、大曾根、宮野のFWトリオを持ち一本勝負に強い同大といった各校で、大黒柱高村を卒業で欠きながら、攻守のバランスはむしろ昨年以上の関大も当然、上位校の角逐に加わることとなろう。

・ダーク・ホースは桃山学院大で、近畿地区の優秀高校選手を揃えて三年目を迎えたこのチームは順調な進境を見せ、無名とみて侮れぬ力を備えている。

また、春やや期待を裏切った早大、慶大、明大、神大、京大、などはこの大会をカムバックの足がかりにしょうとしており、特に荘林、西本のコンビが健在の神大は軽視出来ない。大物食いと定評の甲南大、関西はその陣容から推して、慎重な試合運びさえ見せれば〃波乱の目〃となりかねない。

(地)元で張り切る東北学院大の試合ぶりが注目され、進境を伝えられる岐阜大、東北大(東北)、山口大などが斗志でどこまでやるか興味であろう。

また、今年初めて行はれる予定の女子は、日体短大が文句なく強そうで、日女体大、中京大を降して初優勝を飾ることになるのではなかろうか。日体大の対抗馬と予想される熊本商大が出場すれば決勝戦は白熱しょう。

〜　〜　〜

「三年後にはNO・1」と快気炎

岡野バルブ製造株式会社
専務取締役
岡野正実

「お恥かしい話ですが、私はまだいちどもハンドボールを見たことがないんです。面目ありません」と開口一番おっしゃる。隆としたイギリス型ジェントルマン、学生時代（九州帝大出身）に短距離で鍛えただけあっていい体格をしている。非常に明朗な人で話術がうまい。明治末期の生れだが、顔のつやはいいし若さにあふれている。

――ほんとうにハンドボールを見たことがないのですか。

岡野――そうなんです。三十二年に松山君（小倉工高出身）が入社し、三十五年十二月からハンドボール部をつくったそうです。昨年うちのチームが国体（秋田）に出場したとき、父（社長）が「ハンドボールって手でやるスポーツなのか」と聞かれた。これには参ったんです。いちども見ていないんで「そうです」と答えたのですが、あのときばかりは冷汗が出ました。急いでルールブックや、ハンドボールの手引きを読んでアウトラインだけはつかみました。

――ハンドボールに首を突っ込んでみる気にはなりませんか（？）

岡野――うちの社では野球、庭球、卓球、バレーボール、バスケットボール部があります。だからハンドボールを断わる理由がない。それにスポーツは人生の修養にもなるので、私は大いに奨励しています。スポーツの世話は少しも苦になりません。ハンドボールに関しては松山君の入社で開眼したのです。ハンドボールは歴史が浅いと思っていたんです。まったく汗顔の至りです。昭和十二年に日本協会が生れたとかきいています。

――このさい、ハンドボールのためにひと肌ぬぎませんか。大崎電気の渡辺社長はチームをつくって二年間に大タイトルを握ったんですよ。

岡野――エッ。渡辺さんが……。それはほんとうですか。渡辺さんにはときどきお会いしていますが、ハンドボールのことは少しも話さない。渡辺さんがやれるなら私にもできます。

――渡辺さんはハンドボールにとりつかれた男なんです。

岡野――これは驚いた。よくわかりました。私も男です。それに父は「人のやらないものを必ずやる」ことをモットーにしていますから、私も渡辺さんの第2号になりましょう。とりつかれた男に…。まあ一二、三年のうちにはナンバーワンになってみせましょう。

――岡野バルブは九州でたった一つの男子実業団チームですよ。

岡野――ますますヤル気が出ました。（古賀勤労課長と松山君の方をみて）しっかりたのむぞー。

▽……岡野さんはいま門司市のバレーボール、卓球、陸上競技の会長をやっている。学生時代は陸上競技、ヨット、ゴルフの万能スポーツマン、ゴルフのハンディは10。見事な腕前で門司近郊のゴルフ場の幹事、高松宮ご夫妻が門司に来られると、いつもお世話をしている。毎年小倉工高のハンドボール部員を採用しているが「みんな成績がいい。ハンドボールの選手はりっぱだ」と手放しでよろこんでいる。〃健全なスポーツに健全な精神が宿る〃といって若い社員にスポーツをすすめている。二、三年後には小田原（神奈川）に工場を新設し、ハンドボールチームをつくると張り切っている。部員が大会に出るので休暇願を持ってくる。頭をかきながら小さくなっているのを見ると「上を向いて堂々と持ってこい。遠慮することはない」といって激励する。ただ練習になると作業中に抜け出すので部課長あたりが困るらしい。そのときは「ハンドボールのためだ。不健康な遊びよりもハンドボールの方がいい」と助言する。松山君は「とても理解があるのでうれしくなります。ハンドボールばかりでなく、スポーツ全般に理解があるので、うちの社員は仕事で恩返しをしています」と岡野専務を激賞する。ハンドボール部長の古賀勤労課長も「とにかく人情味のある人です。スポーツでりっぱな人間をつくれというのですから、うちの社員は恵まれています」という。岡野バルブの会社の設備は同業者のなかでは日本一、社員も勤勉で門司市では有名という。アメリカでも岡野の名は響き渡っている。「この次はハンドボールを日本一にしてみせます」と念を押していた。九州地方でたった一つの男子実業団チームという点が、大いに気をよくしたらしい。二、三年後の岡野バルブチームは期待できる。実業団決勝は大崎電気対岡野バルブになるのも決して夢ではなさそうだ。福岡県出身、年齢は本人の申し入れで明治末期の生れとしておく。

気になる女子代表の胃袋

＝楽書帖＝ 第10回

鷲尾武治

▽…五月上旬から二週間ほど上京したので、暇をみてハンドボールの人たちに会った。それに世界選手権に参加するというので15人の選手にも会った。合宿にはいる四、五日前に大崎電気、レナウン本社を訪れて渡欧選手にいろいろ話をきいた。大崎電気で宮原君をはじめ〃ちび助〃の宇井さんら6人、渡辺社長も顔を出してくれた。いろいろ抱負を話してもらったが、結果は「未知数」ということだった。現在までに一度も国際試合の経験がないからやむを得ない。二月にチェコが来日するというので手ぐすね引いて待っていたのだが……。しかしみんな元気いっぱい。レナウン本社では塩川君、山田君、竹本君に会った。太田君には合宿のとき、お目にかかったが、太田君にしろ、竹本君にしろ、ことし入社したばかりのBG一年生。それも入社二カ月たらずで世界選手権大会に出場するのだから、幸運といっていいだろう。どこに〃福の神〃（山の神じゃありません）がころがっているかわからない。合宿第一日に愛知紡の人と顔を合わせた。いずれも真っ黒。かなり鍛えてきたのだろう。沢田の勝ちゃん、イソ君などはファイト満々。

▽…合宿第一日のなかで、国立競技場の聖火台を駆け登った。みんなアゴを出した。四往復は女子選手には相当こたえる。とくに大洋デパートの西村八千代ちゃんはフーフーいっていたのはおもしろかった。遠征に備えて〃お米を食べない運動〃。パン食のため東北育ちの太田君、北陸の竹本君はウンザリしていた。肉がきらいな人もいた。世はさまざま。ただ気にかかったのは大食漢がいなかったこと。〃食い気よりも色気〃かどうか知らないが、とにかく食べっぷりは悪かった。これで試合に勝てるのかとちょっと不安になった。高嶋監督が「もっと食べろ」といってもそこはレディーのたしなみ。下を向いたままモジモジ。「そのうちにパンのおかわりなんて言いだすよ」と北川ヘッドコーチが冷やかしていた。そうなってほしい。

▽…関東学生リーグで芝浦工大に土がついたので、芝浦工大の中沢君を捕まえてきいてみた。越智君のケガが大きく響いたといっていたが、「芝浦工大が弱くなったのではなく、法大、立大が強くなり、力が接近した」というのがどうも真相らしい。ことしのインターカレッジはおもしろくなりそうだ。いつまでも芝浦工大が王座にいたのでは興味がない。芝浦工大を倒すチームが出てくることが、ハンドボールをさらに発展させることになる。ただ名門の明大が最下位で振わない。明大の吉田監督は「選手が集まらず苦心している。一年生がレギュラーではどうすることもCAN NOT」といっていた。駒沢グラウンドは秋から使用できないので、こんごどうするか。学連さんよ。しっかりたのんまっせ。

★ ★ ★

時評

ルール尊守と勇気ある意見

みんなで築くハンドボール界

▽…前号（第9号）のこの欄で「ゲームのスピードアップ」について述べたが、こんど協会はルールを一部改正してスピード化に乗り出した。これはいいことである。この欄でルール改正をくどくど述べる必要はないし、本誌掲載のルール改正をよく読んでもらいたい。フリースロー・アゲインでロスタイムが出るなんて実におかしい。協会が改正に踏み切ったのは、昨年の欧州遠征で学びとったからだろう。ルールが改正になっていちばん困るのはプレーヤー、レフェリーである。最初のうちはなにかとまごつくだろうが、「習うより慣れろ」のたとえのように、慣れてくれば苦にならない。むしろゲームがすっきりする。反則退場はどしどし適用するようにレフェリー諸君にお願いしたい。

▽…大阪の大会を見て気のついたことがあるので書いておく。大阪室内大会でゴール・ジャッジがいなかったし、チェンジ・ボールがなかった。人手不足、品不足のためかどうかは知らないが、間の抜けた大会だった。スポーツの試合はお互いの約束の上で成立する。協会は「ゴール・ジャッジ、チェンジ・ボール不要」とはいっていないはずである。また西日本学生選手権大会が大阪のうつぼ球技場で行なわれたときは、レフェリーの服装が気になった。「レフェリーの上下とも黒」と定まっているのに、上衣は白を着ていた。学連の役員はこのくらいは知っているはず。OBもいたことだし、だれを注意しなかったようだ。こんなデタラメをやっているから、他の競技団体からバカにされるのだ。やってはいけないことはやらないこと。こんなことぐらいはこどもでも知っている。こんごはこんなことがないようにしてほしい。

▽…ある監督に「ことしの男子の欧州遠征の選抜はどうしたらいいか」と聞いてみた。昨年の全日本チームの世界選手権出場のときは、「選抜の方法がなっておらん。芝浦工大系が圧倒的に多い」と異論が飛び出たから、敢えてこの監督に聞いてみた。その答えがふるっている。「そんなことはおれにはわからん」とそっけない返事。協会に対して反骨精神があるならこのとき堂々といえばいい。あるいは選抜の方法を明示し、協会に進言してこそ名監督である。またそれくらいの勇気があってもいい。他人のやることにケチをつけたり、役員横暴とかげ口をたたいたりしては少しも進歩はない。ハンドボールをよくするためには、みんなが力を合わせることしかない。そういう意味でこれからしっかりやってもらいたい。

× × × ×

にこたえる

本誌第九号では、ハンドボール向上のために寄せられた数多くの〃地方の声〃を特集したが、日本協会では、全日本選手権大会の予選制採用、審判技術の問題などについて、次のようなこたえを寄せた。

全日本選手権 予選制度について

日本ハンドボール協会総務部長 的場益雄

ことしから男子実施

従来全日本総合選手権大会等は、参加チームが多いため、大会運営に支障が多く、また『一日に二試合とはひどい』と出場チームからの苦言もあった。他方一、二回戦はとかく技術の差が甚だしく得点もいわゆるダブルスコアの試合もみうけられ『これが全日本大会か』といって酷評する人もいた。

このような点を是正し、全日本大会にふさわしい充実した大会にするために予選制度が検討された。そして本年度はとりあえず全日本総合選手権大会の男子の部にかぎってこれを実施することになった。

その大要は次のとおりである。

㈠出場チーム数は、二十六〜三十二チーム

一、前年度優秀チーム
（協会推せん）……………四

二、ブロック代表チーム
（地区推せん）…………十二

三、学生代表チーム
（学連推せん）…………八

四、開催府県代表チーム
（地元推せん）…………二

五、その他優秀チーム
（協会推せん）……〇〜六

(イ) ここで問題になったのは、チーム数をいくつにするかということであった。チーム数を少なくするという原則にたてば、技術の高いチームにしぼれることになる。それかといって余り少なくすることもどうであろうか。

そこで常識的に一応考えられるチーム数は、十六チームであろう。この十六という数は組合せについてすっきりしているよさがある。

このような数をきめて、その数をどのようにきめるかという考え方もありうるが、今回のように二十六チーム（最高三十三チームまで）になったのは、チームを選出する立場を考慮して結果的にこの数になったわけである。

(ロ) 内訳けについての問題点を拾ってみると。

一、の前年度優秀チーム四……というのは、委員会の原案では三であった。それは三位決定戦を盛上るようにまた有効に考えたいからであった。しかし、全体のバランスから四チームにし

×××× 海外通信 ××××

男子ヨーロッパカップ

ドイツのフライシャウフ・ギョッピンゲンがユーゴのパルチザン・ブジエロバを13—11で破り、ヨーロッパチャンピオンのタイトルを保持した。

フランスのレキップ紙により開催されたヨーロッパカップのうち、今回パリで行なわれたドイツのチャンピオン・フライシャウフ・ギョッピンゲン対ユーゴのパルチザン・ブジエロバの決勝戦ほど情熱と活気にあふれたものは未だかつてなかった。ドイツが前半8対3とリードして後半に入るや、ユーゴは爆発的な活動を初め、後半15分には9対9の同点にこぎつけた。

ユーゴがこの調子を持続し、逆転して勝つのかとも見え、クーベルタン体育館は高潮したふんいきと観衆の熱狂的な叫びに満ちた。しかし結局前回チャンピオンのフライシャウフ・ギョッピンゲンが、技術的優位とジンガー、ヤロッシュ、グリル等の活躍によりついに優勝を獲得した。

今回は一九五七年に都市対抗として創立されて以来第四回目のヨーロッパカップの決勝戦で、最初の一九五七年のチャンピオンはオレブロを破ったプラーグで　た。一九五九年にヨーロッパカップは実施方法を改め各国のチャンピオンによる大会となった。この五九年には決勝戦でハンドボール旦那（ベルナール・ケンパのこと）とそのギョッピンゲンチームはスエーデンのRIKギョーテボルグに13対18で屈服したが、パリ観衆は盛大な拍手を送ったのであった。一九六〇年にはそのフライシャウフ・ギョッピンゲンがデンマークのアルハスとAFと決勝で対戦し、復しゅうをとげチャンピオンとなり、ついで本年はドイツでの50回目のチャンピオンのタイトルを獲得し、本大会でも連続優勝したものである。

▽準決勝

フライシャウフ・ギョッピンゲン 対 ダクラ・プラーグ
於カールスルーヘ 13対8（8対3）

パルチザン・ブジエロバ 対 アルハスGF
於ベルグラード 14対13延長（9対6）（11対11）

▽決勝

フライシャウフ・ギョッピンゲン 対 パルチザン・ブジエロバ
於パリ 13対11（8対3）

女子ヨーロッパカップ

チェコスロヴァキアのチャンピオン・スパルタク・ソコロボはユーゴのORKベルグラードに第一回戦では3対2で負けたが、プラーグでの第二回戦を9対5で完勝し、カップを獲得した。

優れた得点能力がヨーロッパカップをスパルタクにもたらしたものである。これによってチェコスロヴァキアが今年女子の

"地方の声"

た。そして本年度から三位決定戦を行なわないことにした。
二、ブロック代表十二チームの数は、(北海道・東北・○関東・○東海・北陸・○近畿・中国・四国・九州)の各一チームに、○印の三ブロックからは、更に一チームあて推せんすることができることにした。これは、その地域の技術のレベルの高さと、普及層を考慮したためである。
三、の学生代表八チームは、多すぎるのではないかという意見もあった。しかし、現実に学生チームの技術が高く、その数においても最近とみに激増しているのでこのチーム数までふみきったわけである。
この八チームは、全日本学連に推せんを一任することになっている。
四、開催府県代表の二チームというのは、全体のバランスの立場からも順当の数と考えている。
以上で二十六チームになるが、ブロック代表学生代表等も、予選を行なわなくても、場合によれば推せんだけでもさしつかえないことになっている。
出場チームの最終決定は、日本ハンドボール協会で行なう。そのために学生代表は六月三〇日までに、またブロック代表は、七月二十日までに協会へ報告しなければならない。
協会では、この二十六チームの決定ならびに今まで推せんされなかったチームのうち、実力あるチームがあれば、二十六チーム以上に加えてもよいことにした。しかし最高三十二チームまでとすることに制限した。
わかりきったことであるが、学連推せんチームの選手は学生に限ること。OBは加えることはできないわけである。

審判の問題について

日本ハンドボール協会審判部長 若崎重富

アンケート③の「審判技術と審判員」の等級制を読んでその内容を大別すると、審判講習会、審判技術、審判の審査と等級です。個々の人にお答えすればよいのですが、関連性のあるものは一つにまとめました。なおここに記したもので、全国理事会の承認を得なければならない事項があります。
これは全国理事会に提出する原案としてお受け取りください。

▽講習会を開催の件

(1) 講習会の開催については計画中。審判委員会としても毎年一回以上の開催計画を立てている。各県、地区、チームの講師派遣の要請があれば、委員会は全面的に協力する。

(2) 審判技術の統一は、人間の個性に差があるようになかなかむずかしい。理論的には統一できても、競技は生きているので実際面では困難。審判技術を向上させることによってこの解決をはかりたい。

▽審判の二人制の件

(1) 審判のミスジャッジは審判技術の問題である。制度を改めることによって、審判のミスジャッジをなくすことはできない。審判は競技者が毎日練習に励んでいると同じように努力し、選手以上の体力を持つことが審判としての条件の一つである。審判の自覚が必要です。

▽審判の割り当ての件

(1) 高等学校ハンドボール部で審判部を確立しなければ解決しません。経費の関係で全国大会の二回戦までは、各県の代表校の付き添い教師が審判になる。一日の試合が終了しなければ、翌日の審判割り当てができないのが現状です。これは競技運営から考えてよい方法ではない。改善するように高体連ハンドボール部の責任者に伝えます。

▽本部審判と地方審判の技術の差と連絡の不備の件

(1) 技術の差の最大の理由は経

世界選手権大会で、前回獲得したチャンピオンのタイトルを保持す〻　性が多くなってきたといえ〻
女子ヨーロッパカップは二回戦方式で行なわれてきたが、過重なスケジュールになるという理由で、今後この方式について再検討されねばならぬという批判が生じている。

▽準決勝第一回戦
RSVミュルハイム　対　スパルタク・ソコロボ・プラーグ
於エッセン　7対6(1対4)
ORKベルグラード　対　ステインタ・ブカレスト
於ベルグラード　5対5(3対2)

▽準決勝第二回戦
スパルタク・ソコロボ・プラーグ　対　RSVミュルハイム
於プラーグ　6対2(2対0)
ステインタ・ブカレスト　対　ORKベルグラード
於ブカレスト　7対6(5対5)

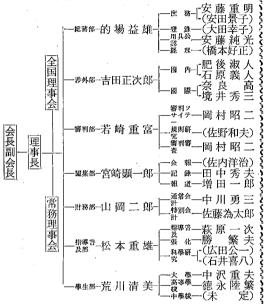
▽決勝第一回戦
ORKベルグラード　対　スパルタク・ソコロボ・プラーグ
於ベルグラード　3対2(2対2)

▽決勝第二回戦
スパルタク・ソコロボ・プラーグ　対　ORKベルグラード
於プラーグ　9対5

(国際広報第34号(62年4月)抜すい・ほん訳境井)

協会だより

日本ハンドボール協会は４月19日お茶の水の岸体育館で全国理事会を開き，次のことを決めた。出席者＝出口副会長，高嶋理事長，吉田，荒川，的場，山岡，宮崎，若崎，勝，中沢，中川，境井，松本，萩原，岡村(以上東京)，山田(大阪)，入江(茨城)，清水(山梨)，町田(群馬)，小袋(福岡)，藤田(山口)，稲石(愛知)，井田(埼玉)，岩井(北海道)

△事務局の組織

△専門委員会について

◎規則研究委員会（18人）

委員　若崎　重富　　藤本　強　　佐野　和夫
　　　岡村　和二　　中沢　重夫　　西山　逸成
　　　石井　喜八　　安藤　純光　　勝　繁夫

ブロック１人づつ（北海道、東北、北陸、関東東海、近畿、中国、四国、九州）

◎審利審査委員会（５人）

委員　若崎　重富　　山田　計　　入江　暢一
　　　松本　重雄　　岡村　昭二

◎会報編集委員会（５人）

委員　宮崎顕一郎　　的場　益雄　　田中　秀夫
　　　境井　秀三　　佐内　洋治

◎指導普及委員会（15人）

委員　松本　重雄　　山岡　二郎　　的場　益雄
　　　奥村　広重　　萩原　一次　　安藤　哲子
　　　大杉　淳子

ブロック１人づつ（北海道、東北、北陸、関東東海、近畿、中国、四国、九州）

◎強化委員会（５人）

委員　松本　重雄　　荒川　清美　　中沢　重雄
　　　佐野　和夫　　勝　繁夫

△予選制度について

|基本的な考え方|

1. 参加チームは技術が高いこと
2. 参加チームはあらゆる普及層から選抜されていること
3. 参加チームの推薦は各協会などの組織を尊重すること
4. 登録チームであること
5. 学生代表チームは学生に限ること
6. 試合は一日一試合を原則とする
7. 予選制度実施はとりあえず本年度は全日本総合選手権の男子の部に限る

|出場チーム数|　26～32チーム

内訳けは18頁参照

験の差である。学連を持っている地区の審判は経験が豊かになり、互いに研究や議論する機会も多く、技術が向上します。地方審判の技術を向上させたり、連絡の不備を解決する一つの方法として全国大会、国体において開催近県の審判に笛を吹かせる。各県、地区に審判部を設けること。各県、各地区審判部長の講習会を年二回ぐらい開催し、講習会内容の伝達の責任を持たせるようにしたい。

▽審判資格と審査の件

審判委員会が現在構想中のものをお知らせする。

(1) 審判資格を従来の三階級に、Dを加えて四階級とする。A、B級については従来どおり。C級は従来のA、B級の審査と同じにする。新たに加えたD級を準審判として従来のC級の審査法とする。

(2) 毎年一回審判手帖を審判委員会に提出する。

(3) 日本ハンドボール協会主催の講習会に参加して、これを伝達指導する責任を持つ。

(4) 賞罰規定を設ける。

(5) 各県、地区大会審判長はその大会審判名に評定を添えて報告する。

(注) 七月末日までに審判諸規定を作成することになっている。参考意見を歓迎します。

▽審判はルールを研究せよの件

(1) 全く同意見です。そのために機会をつくっていきたいと思う。今後は機関誌を大いに利用します。

(2) ルールの改正にあたって、諸兄の考えていることを含んでいます。

松原君の霊安らかに

三河島事故にあった洗足ク結成の功労者松原君の追悼試合開かる

東京三河島の電車衝突事故でハンドボールの関係者が死亡した。この人は東京大森六中のハンドボール創立者の松原重樹さん(22歳)大森六中の出身者で洗足クラブを結成し、いまでは東京でも優秀なクラブチームとなった。そこで洗足クラブは大崎電気、レナウン工業の応援で六月二日午後二時から大森六中グラウンドで「松原君追悼ハンドボール試合を行なった。日本ハンドボール協会から高嶋理事長も出席し、同君の霊を慰めた。試合は雪ケ谷クラブ洗足クラブC大崎電気(男)—洗足クラブB、大崎電気(女)レナウン本社、大崎電気A(男)—大崎電気Bの四試合を行なった。

洗足クC	8	4—1 4—4	5	雪ケ谷ク
大崎電気	21	10—1 11—7	8	洗足クB
大崎電気	9	4—2 5—4	6	レナウン
大崎電気A	18	8—6 10—10	16	大崎電気B

〔松原重樹君の略歴〕

一九三九　東京に生まる
五二　区立小池小学校卒業
五五　〃　大森第六中学〃
　　初めてハンドボールを行なう
五八　都立大崎高校卒
五八—六二年　光風会研究所
　　スイドウバタ洋画会に学ぶ
　　アトリエグループを結成研究する
六二　武蔵野美術大学造形学部美術科油絵専攻に入学する
六二、五、三　国鉄三河島事故にて死去

日体大が五年ぶり優勝

関東学生春季リーグ 優勝決定戦で芝工大倒す

関東学生春のリーグ戦は四月二十九日から五月二十七日までの五週間にわたって東京駒沢グラウンドに一部八校、二部九校が参加して行なわれた。一部では芝浦工大と日体大が6勝1敗で同率首位となったため、五月三十日、両校の間で優勝決定戦が行なわれたが、日体大が一点差を守り、五年ぶり、十シーズンぶりに優勝した。

▽一部△

▽第一日

芝浦工大 22（11―2、11―4）6 法政大

立教大 19（8―9、11―4）13 明治大

中央大 15（4―6、11―7）13 日体大

早稲田大 15（9―4、6―5）9 慶応大

▽第二日

日体大 17（6―6、11―8）14 早稲田大

芝浦工大 22（6―8、8―6、延長 4―1、4―3）18 立教大

中央大 22（6―9、11―8、延長 2―3、3―2）22 慶応大　引分け

▽第三日

法政大 20（10―4、10―8）12 明治大

立教大 7（3―3、4―2）5 中央大

法政大 7（3―3、4―3）6 早稲田大

日体大 7（4―3、3―0）3 芝浦工大

慶応大 8（5―1、3―4）5 明治大

▽第四日

立教大 21（11―7、10―9）16 早稲田大

日体大 15（10―5、5―4）9 明治大

芝浦工大 24（11―6、13―3）9 慶応大

法政大 16（11―5、5―6）11 中央大

▽第五日

日体大 19（10―5、9―8）13 法政大

中央大 17（10―3、7―4）7 明治大

立法大 12（3―5、9―6）11 慶応大

芝浦工大 17（5―6、12―6）12 早稲田大

▽第六日

法政大 20（9―8、11―9）17 慶応大

芝浦工大 20（12―5、8―4）9 中央大

早稲田大 15（7―3、8―10）13 明治大

▽第七日

日体大 19（11―7、8―6）13 立教大

法政大 21（11―10、10―10）20 立教大

日体大 19（10―4、9―5）9 慶応大

中央大 16（7―7、5―5、2―1、2―2）15 早稲田大

芝浦工大 13（7―4、6―1）5 明治大

▽二部△

▽第一日

順天大 17―11 武工大

東京大 20―19 茨城大

教育大 21―8 日本大

防衛大 26―9 千工大

▽第二日

学芸大 21―7 武工大

千工大 13―10 東京大

教育大 30―20 茨城大

防衛大 22―14 順天大

▽第三日

防衛大 16―1 東京大

千工大 不戦勝 武工大

学芸大 17―8 日本大

順天大 不戦勝 茨城大

▽第四日

学芸大 16―13 防衛大

茨城大 25―14 武工大

教育大 27―15 千工大

▽第五日

日本大 15―13 東京大

茨城大 22―18 日本大

教育大 26―16 順天大

学芸大 17―16 東京大

防衛大 28―6 武工大

▽第六日

教育大 21―6 武工大

千工大 17―16 順天大

学芸大 17―11 茨城大

防衛大 13―10 日本大

▽第七日

順天大 16―14 東京大

教育大 16―11 学芸大

日本大 16―12 千工大

茨城大 18―16 防衛大

▽第八日

東京大 17―7 武工大

学芸大 17―8 千工大

順天大 19―15 日本大

教育大 14―9 防衛大

▽第九日

日本大 11―9 武工大

学芸大 12―8 順天大

茨城大 20―11 千工大

教育大 18―8 東京大

▽一、二部入替戦

明治大 14―12 教育大

▽**女子の部**△

日体大 15（7―0、8―2）2 日女体大

日体大 17（11―2、6―2）4 日女体大

日体大 15（8―3、7―2）5 日女体大

▽**一部優勝決定戦**△

日体大 8（5―3、3―4）7 芝浦工大

〔試合経過〕

スローオフからそのまま14メートルスローによりゴールに結びつけた日体大も、6分、9分に福島、北村に返され逆転、しかし10分、北山、12分河上が右サイドから決め再び優位にたった、その後芝浦はハンドリング悪るくそのすきをついて19分北山が再びミドルシュートを放ち4―2とリードした。しかし20分金山が右サイドぎりぎりから倒れこみ差一点とせまったものの、芝浦相変らず動きらしい動きなく、一方日体大は確実にチャンスを生かす作戦に出ボールをよくまわし28分小林がポストプレ

〔日体〕		〔芝浦〕
島崎	GK	釜
蓮井、北岡	FB	川島、久保
石原、田上、三友	HB	中、斎藤、野村
小林、北山、河上、栗山、沢田、藤原	FW	福島、金山、北村、青木、越智、住広
15	シュート	23
35	反則	45
2	14米	2

1部成績表

	日	芝	法	立	中	早	慶	明	勝	敗	分
①日体大	＼	○	○	○	×	○	○	○	6	1	
②芝工大	×	＼	○	○	○	○	○	○	6	1	
③法　大	×	×	＼	○	○	○	○	○	5	2	
④立　大	×	×	×	＼	○	○	○	○	4	3	
⑤中　大	○	×	×	×	＼	○	△	○	3	3	1
⑥早　大	×	×	×	×	×	＼	○	○	2	5	
⑦慶　大	×	×	×	×	△	×	＼	○	1	5	1
⑧明　大	×	×	×	×	×	×	×	＼	0	7	

2部順位①教大8勝②学芸大7勝1敗③防衛大5勝3敗④茨大4勝4敗⑤順天大4勝4敗⑥日大3勝5敗⑦千工大3勝5敗⑧東大2勝6敗⑨武工大8敗

ーから右上に決め差二点のまま後半に入った。後半に入り相変らず慎重の日体大に対し芝浦1分北村が縦につっこみゴールをあげた、その後引きつづいて2本の14メートルスローを得たものの、2本共はづしこれが大きく勝敗にひびいた。9分日体は14メートルスローを決め逆に確実に14メートルスロー2本を生かした日体大であったこれで少々あせり気味となった芝浦は連続3本ボールをゴールにぶつけ勝負から見放なされた感があった。そしてますます単発的となりドリブルを多用27分越智がようやくフリスローからゴールを決め差一点とせまったものの28分、29分と日体大北山、小林がデフエンスの真中をつっきりゴールをあげタイムアップ寸前芝浦越智がロングシュートを決めたものの、日体大がそのまま逃げ切り芝浦の十連覇をはばんだ。

〔評〕 両軍共速攻を繰り出しハンドボールのダイゴ味を見せてくれるかと思ったが、それに反し完全にスローの試合ぶりとなった。慎重の上に慎重を期したとも考えられるが余りに得点にこだわり過ぎたのでなかろうか、とくに芝浦工大は持味の速攻や走りは見たくても一回もなく、個々のプレーに走りそれによっての得点が全部であったという事はやはり敗けるべくして敗けたといえよう、勿論両インナー、チャンスメーカーである森田と池田の負傷による欠場、越智の腰を痛めたのをこらえての出場と、レギュラーが揃ってスタート出来なかった事が大きく影響したことはわかるが、もう少し芝浦らしい往年の鋭い走りのあるプレーが見たかった。一方日体大はリーグ日を追う程に好調さを見せ、全員揃ってよく動いた。とくにのびなやんだ北山がとかく小林、栗山にたよりがちであったプレーから脱皮し得た事も大きな勝因であろう。この日今季リーグ始って以来のスタンド一ぱいの観衆を集めた試合であった。作戦であったかもしれないが、集った観衆も久しぶりの日体—芝浦戦とてオーソドックスの速攻の応酬が見れると期待を大きくして来たのが案に相違し、スローペースの内容のとぼしい試合であった様だ。

「関東学連審判長佐野和夫氏談」

リーグの結果から見て両チームの物凄い速攻の応しゅうが見られるかと思ったが、ゲームは全く逆で日体の終始とったスローペースに芝工大は巻込まれた。両チームとも優勝を意識しすぎてリーグ戦中に見せたダイナミックなプレーは全くなく得点にこだわるプレーで内容は凡戦であった。芝工大は負傷者が多くFWのコンビがくずれ日体大はスローペースから機を見ての切込みが成功していたがスローペースのゲームはハンドボール競技のおもしろ味を著しく害しているし大学リーグでは若さと力をもった技術や、スピードをもったゲームを展開してほしい。

実力目立って向上

中沢重夫

総評 東京オリンピックにからみグラウンド工事のため例年より早い四月二十九日駒沢ハンドボール競技場において開幕した春季関東学生リーグ戦は開幕時は新人のためか、また例年より早いためまだ充分な練習を積んでいないためか非常に動きのにぶい試合が多かった。しかしそれも日を追って目にみえて試合内容が充実していったことは非常に喜ばしいことであったし見る者、する者にとっても楽しみであり、大きな刺激にもなって非常な好結果を生んだ。

それにもまして関東学生リーグにおいて、常勝の芝浦工大を降した日体大、芝浦工大と延長にもちこみ対に試合をいどんだ立教大、この日体大を降した中央大、あげ潮とはいえ立教大と大接戦の末、勝利を握り堂々三位に食い込んだ法政大の活躍、強豪立教大を最後の最後迄食いつき、タイムアップ10秒前のダメ押しで破れたとはいえ、中央大と引分けるまでいく大健闘の慶応大など今季リーグは実に予断の許せぬ毎日毎日であったし内容豊富なリーグ戦であった。

これは一部リーグ各校の実力が接近したことと各チームが自信をもって試合にのぞみ実力をフルに生かせる様になったことがあげられるだろう。

芝浦工大といえどもメンバーからして、少々カラーが違ってきたが、昨年より実力がそう落ちたとは考えられぬ、むしろ各校の実力が上り互にエキサイトした試合になったという方が正しい。各校の選手の不断の努力、OBその他コーチングスタッフの熱意の賜と考えてよい。これから行なわれる全日本学生選手権、全日本総合選手権、そして秋季リーグ戦の楽しみもひとしおというところである。

この様になると東京オリンピックの種目からけづられた事は本当に残念である。さて内容はどうであったか。まずあげられる日体大はリーグ戦、日を追う毎に調子が上り、栗山、小林、北山、河上等のホワードトリオが走、投共に呼吸のあった好プレーを見せ、シュートにしろムリ、ムダがなく堅実なプレーを見せ、バックスもキーパーもよくそれに応えるだけの出足、あるいはデフエンスを築き上げたことが原因であろう。また立教大の小野、中根、法政大の吉村、西村田口等の主力選手を生かすべく各々のチームの中の動きがピッタリ呼吸のあったこと、ムダは極度に減らすべく努力をした後が充分にうかがえた。慶応大なども決して抜きんでた選手がいるわけではないが、あれだけの健闘の記録を残せたのは、いわゆる団結、チーム全員の総力の結集といえよう。苦戦を続けた芝浦工大は往年のようなキビキビしたすばやい動きが少なくなりこれも金山、越智、福島と大型化した事も原因であろうが腕力だけに頼り単調な攻撃をくり返すのでは苦戦もやむ得まい、やはり本来のハンドボールの姿、走るという原則をもっと真剣に考えるべきであろう。前の四者に比べ芝浦工大のボールに対する執着心は一寸たりなかったようだ。また雨中戦に弱いという原因もそのあたりにあるのでなかろうか、余り取り上げられるプレーの少なかった今季の芝浦工大であった。早稲田大は名手恵谷の穴はやはり埋って居らずデフエンスは少々荒れ気味であった、中大も強豪日体大を初日に降しながらその後勢いなく対日体大戦の様なプレーが少く名FC大脇只一人に頼りがちでは苦しい試合もやむ得まい、決してこれが本来の中央大とは考えられぬ。最後に明治大は大貫の卒業生を出した後だけに横野一人ではどうにもならなかった。むしろ秋に期待したいところだ。

さて二部では教育大の全勝はしかるべきであり、二位学芸大との間には少しまだ差がある。二部で光ったのは茨城大の3勝5敗、新鋭日本大の3勝5敗は立派なものといえる、ただ東京大の2勝6敗、八位の成績はうなずけない。

終りに今季リーグから早速適用された本年度協会制定ルールも当初少しまごつきをみせた選手も、だんだんなれ前の様な荒らさの目立つプレーがなくなり、きれいな試合となった。やはり技術には技術で対抗する事は当然な事かもしれない。試合が全般にスピーディーになった事もあげられそうだ。

関学が優勝 桃山学院大が二位に躍進

関西学生春季リーグ

関西学生ハンドボール春季リーグ戦は5月13日神戸大学住吉分校で開幕した。一部は関学が第六日の対桃山学院大戦に勝ち、最終日を待たずに二十四回目の優勝を決定した。今リーグで目立ったことは桃山学院大が第一戦に同志社大に16－11で敗れたが、神大を17－13、関大を21－13、甲南大を16－8のダブルスコア、京大を7－5で破って、関学に次いで第2位を占めたことだ。春の強化合宿でぐっと腕を磨いた結果が、この好成績を収めたのである。関大はFWにまとまりがなく、3勝4敗で不振を極めたのは意外だった。同志社大も4勝2敗1引き分けと評判倒れである。

▽第一日（5月13日）
京大 19（10－6、9－8）14 関大
神大 15（8－7、7－4）11 甲南大
同大 16（5－7、11－4）11 桃山大
関学 14（12－7、12－7）14 阪大府大

▽第二日（5月19日）
桃山大 17（9－9、8－4）13 神大
甲南大 11（6－5、5－5）10 同大
関大 20（11－7、9－6）13 大阪府大
関学 19（6－6、13－7）13 京大

▽第三日（5月20日）
同大 19（11－5、8－5）10 京大
関学 12（5－4、7－7）11 甲南大
桃山大 21（10－6、11－7）13 関大
神大 17（8－6、9－5）11 大阪府大

▽第四日（5月26日）
桃山大 16（10－3、6－5）8 甲南大
同大 24（1－0、4－5、11－12、8－7）24 神大

▽第五日（5月27日）
関学 22（13－8、9－5）13 関大
京大 20（8－6、12－10）16 大阪府大
甲南大 14（7－6、7－1）7 大阪府大
桃山大 7（2－3、5－2）5 京大
関大 11（3－0、1－3、4－6、3－1）10 同大

▽第六日（6月2日）
関学 14（6－5、8－7）12 神大
同大 17（7－8、10－5）13 大府大
関大 14（8－6、6－6）12 甲南大
関学 20（3－1、1－2、9－7、7－9 延長）19 桃山大

▽最終日（6月3日）
京大 14（7－5、7－3）8 神大
桃山大 18（8－6、10－2）8 大府大
京大 10（4－6、6－2）8 甲南大
神大 14（7－7、7－6）13 関大
同大 10（4－1、6－6）7 関学

関学が2連勝

西日本学生選手権

第二回西日本学生ハンドボール選手権大会は4月19日から22日まで大阪市うつぼ球技場で行なわれ、関学が2連勝した。

▽一回戦
立命大 不戦勝 大阪工大

▽二回戦
山口大 10（7－2、3－1）3 大阪市大
甲南大 8（6－2、2－2）4 大阪歯大
同大 14（6－7、8－6）13 桃山学院
大阪府大 8（2－3、6－3）6 立命大
京大 17（9－7、8－9）16 広島商大
関大 15（8－5、7－7）12 神戸大
関学 25（15－2、10－2）4 阪大
大阪経大 不戦勝 大阪学芸大

▽準々決勝
同大 11（2－2、2－1、2－2、5－5）10 甲南大
関学 13（4－3、9－1）4 大阪経大
大阪府大 15（9－3、6－9）12 山口大
京大 14（9－3、5－6）9 関大

▽準決勝
関学 9（0－1、3－1、4－3、2－3）8 同大
京大 9（4－1、5－2）3 大阪府大

▽三位決定戦
同大 18（11－2、7－0）2 大阪府大

▽決勝
関学 13（4－3、9－3）6 京大

〔関学〕		〔京大〕
石田	GK	原川
中倉、大河内	FB	山城、石崎
中浦、薮田、村田	HB	生本、小松、大友
大西、森末、宮本、十倉、吉田	FW	大西、西村、浅野、雨森、武内
27	シュート	19
34	反則	36
4	14メートルスロー	4

▽交代選手 関学（FW藤井）

★

技術研究室

七人制の選手交代（メンバーチェンジ）について（第三回）

——付・ルール改正に対する技術考察——

担当　松本重雄

今年度、ルール改正にともなって、もっとも多く利用出来、従来よりも、大きく変化、活用されると思われる、メンバーチェンジについて、考えて見たい。

メンバーチェンジの出入場が、レフェリーに告げることなく出来ることになった新ルールでは作戦面で、従来、一、二のチームが実行していたことだが、この機会に、一そうスムースになり、その利用効果が著しく高いので、そのねらいと方法などについて、述べたい。

1　メンバーチェンジの必要性

チーム全員、あるいは、その中における個人の、体力保持を主とし、作戦的効果をねらったための必要性は衆知の通りだが、中には、正選手、補欠補充という、考え方に立脚したことも、少からず存在している。しかし、これから述べる方法と考え方は、すでに、オールラウンドプレイヤーの養成と、適材適所の人的構成に合った、11人(試合登録人員)、いや、チーム全体、多数プレイヤーによる、ゲーム運びでなくては、ならなくなって来ている。その意味でも、もう補欠選手という考え方は、不可とせざるを得ない。

2　メンバーチェンジの原則

イ、補充(まだ、少なからず、存在してはいる)

ロ、体力保持(スタミナの配分)

ハ、攻防主眼点の掌握

(ゲーム運びの上から、今、攻めるチャンスをどのように握むか、守備を主眼とすべきの、人的構成による作戦)

ニ、攻防主眼点の変更

ホ、作戦の伝達

(交替選手に、作戦を授け、それを伝達、徹底させる)

ヘ、対敵乱調のねらい。

(味方チェンジによって、チームの今迄のリズムなり、攻撃方向、方法、防禦隊型などを変化させ、相手チームのペースを乱すことをねらう。)

ト、不変的勝利感

(相当数、得点をリードし、次の試合、明日の試合、翌年、新編成等を、考え合せて、楽にリードを、保つため)

チ、選手負傷による。

3　チェンジの例図による説明

A、B図及び説明参照

4　最近の作戦を考察して

A　利点

イ、アイスホッケー式の、第一フォワード、第二フォワードと云った型式もとれないことはない。

ロ、攻撃者と、防禦者の分業も、チェンジのタイミングを掌握すれば出来る。

ハ、速攻体制が常に出来る。

ニ、速攻を防禦する体制も常に出来る。

ホ、体力保持、適材のミックスが出来る。

B　疑問点

イ、相当チェンジの訓練が必要である。

ロ、チームの乱調を招く恐れがなきにしもあらずである。

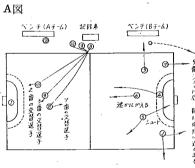
ハ、ルール解決上、競技者がベンチに競技場内から戻ったときに、チェンジする方法だとする意見も残っている。

ニ、審判、記録、各役員の監視を必要とする。

ホ、GKの交替の伝達及び時機の疑問もまだある。

ともかく、最近行なわれつつある、

〔A図〕Aチーム攻撃から→守備へ

☆5番シュート後7番、2番、3番は、速やかに競技場外に出る。

☆8番は7番、9番は3番、10番は2番の競技場に出たのを確認したならば速やかに守備位置に入る。

☆競技場中央から入る。

〔B図〕Aチーム守備から→攻撃へ

☆Bチームシュート後(ゴールスロー、キーパーボールのいづれでも)4番、2番、7番は速やかに競技場外に出る。

☆8番は4番、9番は7番、10番は2番の競技場に出たのを確認したならば速やかに攻撃に移る。

☆競技場中央から入る。

A図

B図

このような方法が、チームのよき勝利点となるよう、訓練されたとき、大きな効果を発揮することと思われるが、これにこだわって、適材の配置、チェンジの時機、全体的タイミング、ペース等に、どちらつかずのチームになりやすいことを注意すべきであろう。

「ルール改正及び申合せ事項による技術的考察」

「ルール改正及び申し合せ事項により、技術的にどうしたらよいか」

イ、没収試合はあくまで、今迄、10対0とかのスコアーはつけず没収試合と明記されるから、競技者は、スポーツマンシップに反した行為、無断退入場、ストーリング、サイドコーチ等、注意しなければならない。（第三条、第十八条、七人制十七条参照）

ロ、身体反則の厳正判定にともない、技術的動作が、あくまでも、ボールを対象とすること、もっとチーム的に、コースをつぶすとか、カット等を狙う防禦の研究が必要である。（六条、十七条（七人制）十八条参照）

ハ、キーパーは、10条でオーバークラウディング等、削除され、有遇されているとしても、8の5（一旦ふれたボールを再びエリア外でふれることはラインクロスをとられる）に注意すること、そのため、もっと両手で確実に自分のものにするか、サッカーのキーパーのように、11人制でも、ゴールライン方向外に出す技術を養うことが必要である。

ニ、ゴール前フリースローについての判定が厳正になったので、攻撃も、直接シュート、或は、ボールをもっと廻してフリースロー得点を考えること。

防禦は、ゴールの片面をつぶす、カット、ボール廻しに対する対策を研究すること。

ホ、チェンジ（交替）の要領をよく練習し作戦的使用まで進めること。（第三条参照）

豆ニュース

芝浦工大の記録

芝浦工大が春の関東学生リーグ戦の第四日（5月12日）に日体大に7—3で負けた。芝浦工大が駒沢で敗戦を記録したのは昭和34年春のリーグ戦で明大に敗れていらい実に三年ぶり。日体大に敗れたのは昭和32年春いらい十シーズンぶり。明大戦から数えて39試合目のもの。また芝浦工大が後半零封されたのも珍しい。

徳山、下松市の準備状況

ことし八月の全日本総合、来年の国体開催地の山口県徳山市と下松（くだまつ）市を訪れ、会場を見て回った。

▽徳山市会場

徳山駅から一本道、1キロの距離。徳山高校が全日本総合、国体の主会場となっている。全日本総合の女子は最初徳山高校内に新設される同校体育館を予定していた。ところが設計その他手続きがおくれたので八月の全日本総合までには間に合わず、やむを得ず同校のグラウンドを使用する。このグラウンドは来年国体の高校男子の主会場であり、160×90の広大なもの。したがって全日本総合の女子の部は正規のコートでじゅうぶん2面とれる。しかも練習もこのグラウンドでできる。近くの小、中学校まで行かなくてもいい。きわめて便利である。国体に使用する体育館はこのグラウンドと背中合わせの場所に新設される。四月末現在、体育館用地の古い教室は取りこわし整地にはっている。全日本総合のときは、50メートル×25メートルの広さがある。ただ雨天のときは、特に会場を下松市民体育館に移す予定である。したがって徳山市。下松当局で話し合いを進めている。

（旅館）下松市にくらべて少い。ただ難点は物価が高いこと、旅館側はスポーツ関係者をあまり歓迎しないことだ。フリーの客に対してはサービスがいいという。国体のときはそれほど問題はないだろうが。ことしの全日本総合のときはテストケースとされるだけに不愉快なことが生じるかもしれない。大会事務局はこんなことがないように旅館組合と話し合いをするといっている。

▽下松市会場

全日本総合、国体（一般男子）とも下松工高、下松中学、末武中学が会場になる。国体は末武中学が第一日のみ。下松中学が三日間、下松工高がメイン・グラウンドになる。国体一般女子は下松市民体育館を使用する。観客千人を収容できるが、35メートル×25メートルはちょっと狭い。各会場とも接近しているので便利。六月下旬までに各会場とも整地を終わり、全日本総合に備える。下松駅裏に下松中学があり、下松市民体育館が市の中心部となっている。体育館から下松工高まで1200メートル、末武中学まで1500メートル、下松中学まで1500メートル。下松駅から末武中学がいちばん遠い。

（旅館）市内に四十軒、全日本総合のときは全部下松市内に宿泊させる。徳山市までバスで15分。名所旧跡は特にない。国体までには徳山市—下松市の中間に大スポーツセンターができる。下松工高の校庭に日本で最初の汽車「弁慶号」がある。同校はモダンな近代建物で、下松市の名物。

注=徳山—下松間はバスで15分。

	全日本総合	国体
徳山市	（女子）徳山高校グラウンド2面（50×25） 練習会場 徳山高校と付近の小、中学校 ◎雨天のときは下松市民体育館を予定している。	（高校男子）徳山高校、岐陽中学 練習会場 徳山小、住吉中、岐山小、遠石小 （女子高校）徳山高校体育館（35×20） 練習会場 岐陽中、住吉中、徳山小
下松市	（男子） 下松工高（主会場） 下松中学 末武中学 いずれも正規の広さ 練習会場 付近の小、中学校	（一般男子）下松工高（主会場）、下松中学（3日間）、末武中学（第1日のみ） 練習会場 付近の小、中学校 （一般女子）下松市民体育館（35×25） 練習会場 付近の小、中学校

連載第一回

ハンドボール球史

昭和12年の全日本選手権から

ハンドボールは歴史が浅く、協会創立当時の記録はほとんどゼロに近かった。最近になって新聞記事として大きく取り上げられたが、戦前の記録は協会の弱体、また戦災のためほとんどなかった。陸上、水泳のような記録更新のためのスポーツでなかった理由もあるが、とにかく戦前から戦後にかけての記録が残っていない。そこで協会内部から「記録を収集したい」という要望が強かったので、さっそくこれに乗り出した。現在野球博物館に勤務している広瀬謙三氏が戦前の記録を収集していた。広瀬氏はプロ野球が日本で始まった当時の公式記録員であり、戦前の時事新報のスポーツ記者でもあった。同氏はプロ野球をはじめ各スポーツの記録を集めており、その中にハンドボールの戦前の全記録があった。同氏は高嶋理事長の知人であり、「私が持っていてもなにもならぬ。ハンドボール協会に寄贈したい」と申し入れがあり、協会はこの貴重な戦前の記録をいただいた。本号から連載することにしたが、もしこの記録に誤まりがあればご連絡ください。また全国の先輩諸公のなかで、戦前、戦後の記録をお持ちの方はご協力ください。正確な記録を保存したいと思います。（鷲尾）

全日本選手権大会

▽第一回（昭和12年11月1日、体育研究所グラウンド）

この大会は当時陸上競技の内部種目であり、現在のような日本ハンドボール協会はなかった。第九回明治神宮体育大会から認められ、それが第一回大会となった。大塚クラブ、慶大、青山師範、日体（当時は日本体育会体操学校といわれていた）。

（一回戦）＝準決勝ともいう。

日体 16（9－0、7－4）4 青山師範

（日体）		（青山）
中島	GK	松岡
張	FB	青柳
朴		小滝
李	HB	山田
森		村山
藪島		清水
財部	FW	野
白		村松
金		武田
荒木		楠本
崔		大堀
5	CT	3
10	FT	7
2	GT	8
3	PT	3

大塚クラブ 12（4－0、8－1）1 慶大HB

（大塚）		（慶大）
山内	GK	新妻
斎藤	FB	横山
高橋		岡
遠藤	HB	隈川
山本		後藤
的場		片山
田島	FW	宮本
崔		伊藤
川田		外山
円谷		樋口
新堀		河上
8	CT	0
31	FT	27
4	GT	4
2	PT	1

（三位決定）

青山師範 11（4－4、7－2）6 慶大HB

（決勝）

大塚クラブ 6（2－0、4－4）4 日体

（大塚）		（日体）
山内	GK	中島
斎藤	FB	入江
高橋		張
遠藤	HB	林
山本		朴
的場		李
田島	FW	財部
崔		白
川田		金
円谷		中川
新堀		崔
0	CT	2
18	FT	10
7	GT	4
0	PT	1

▽第二回（昭和13年7月30～31日 体育研究所グラウンド、8月2日明治神宮外苑競技場）

（一回戦）

日体 17（7－1、10－6）7 慶大

明大 13（7－2、6－0）2 早大A

（準決勝）

日体 18（8－0、10－2）2 YMCA

（日体）		（YMCA）
徳永	GK	張
菅	FB	大西
陳		鵜沢
李	HB	マッコイ
中島		尾上
洪		田路
文	FW	ホルトン
南		青木
崔		入江
馬場		長岡
和田		久岡
18	G	2
40	T	12
18	FT	15
3	CT	1
2	PCT	0
6	13M	2

明大 15（4－2、11－1）3 早大B

（早大）		（明大）
宮田	GK	渡辺
田中	FB	吉山
井上		山口
安田	HB	佐久間
中尾		武居
飲田		小野寺
井出	FW	庄司
和田		桜田
河合		李
津野		山田
佐原		筑紫
3	G	15
14	T	51
5	FT	14
0	CT	1
0	PCT	5
2	13M	2

（決勝）

日体 17（10－6、7－3）9 明大

5分間インタビュー

磯村まさ江

徳山高女子

──いまなん人いるの

磯村──19人です。四月ごろは毎日二人ぐらい希望者があり、大いにあわてました。徳山市内の中学校が盛んなので愛好者が多いのです

──一日どのくらい練習するの。

磯村──男子とは別です。毎日2時間から3時間です。

──百メートルダッシュではだれがいちばん早いの。

磯村──百メートルは計かったことがない。五十メートルでは関段さんが7秒台です。

──三月に熊本で合宿したそうだが。あなたの目で見た熊本市立高はどう。

磯村──ことしは強いそうです。走る方では徳山高の方が早かったので、もし熊本市立高と対戦しても勝てる自信がつきました。

──徳山高の欠点は？

磯村──熊本市立高のような荒武者的なところがないし、スタミナもありません。スタミナをつけるには走ることがいちばんいいと思います。インターハイまでには走る自信をつけたい。熊本の合宿で一日に12キロ走りましたが、別に苦になりませんでした。

──ことしのエースはだれ？

磯村──なんといっても関段さんです。

──どのチームをマークするか。

磯村──栃木女、熊本市立高、菊池農蚕です。

（日体）		（明大）
徳永	GK	渡辺
菅、陳	FB	武居、山口
李、中島、洪	HB	小野寺、吉山、佐久間
文、南、崔、馬場、和田	FW	筑紫、庄司、李、桜田、山田
1	CT	0
0	PCT	3
0	13M	5
26	GT	31

（評）日体は大きなパスで走力を利して明大を強襲し、FWの和田、崔のシュートがよく決まって前半10—6とリードした。後半明大はバスケット流の細かいパスでぱん回したが、日体はますますスピーディーな攻撃の手をゆるめず、17—9で優勝した。

▽**第三回兼第十回明治神宮体育大会**（昭和14年10月31日明治神宮外苑競技場）

白組 19（8—3、11—4）7 紅組

（白組）	（紅組）
徳永（日体）	有元（慶大）
広井（日体）	横山（早大）
川崎（早大）	須藤（慶大）
前田（日体）	飲田（早大）
菅（日体）	中村（慶大）
林（日体）	大坪（慶大）
文（日体）	島田（慶大）
田中（日体）	内藤（慶大）
越智（日体）	西（慶大）
山田（計）（日体）	林（慶大）
和田（日体）	肥後（早大）
22 FT 7	
1 PC 2	
0 CT 0	

◎注＝白組の文選手は現在韓国の慶熙大学教授をやっている文顯柱です。

▽**第四回**（昭和17年10月24〜25日日体グラウンド、青山師範グラウンド）

男子

（一回戦）
日体 4—2 明大

（準々決勝）
青山師範クラブ 2—1 日体
慶大 不戦勝 大阪クラブ
早大 4—1 法大
日体クラブ 7—0 文理大（現教大）

（準決戦）
慶大 7—0 青山師範クラブ
日体クラブ 3—0 早大

（決勝）
日体クラブ 7（6—0、1—1）1 慶大

女子

（一回戦）
津山高女（岡山） 1—0 日体女子部（東京）
倉敷高女（岡山） 3—2 梅花高女（大阪）

（決勝）
倉敷高女 3（2—0、1—2）2 津山高女

豆ニュース

倉敷だより

ことしの第十七回国体は十月二十二日から岡山県下で行なわれる。ハンドボール競技は倉敷市が会場、昨年八月すでに全日本総合選手権大会を開いている。32都道府県が参加し、監督役員は合計856人となっている。会場はいずれも近接しているので比較的便利。会場はほとんど完成している。

会場

▽倉敷青陵高校（一般男子）
倉敷駅から1500メートル、徒歩15分。

▽倉敷商業高校（高校男子）
倉敷駅から2000メートル、徒歩20分。

▽倉敷市立東中学校（一般男子、同女子）
倉敷駅から2000メートル、徒歩20分。

▽同西小学校（高校女子）
倉敷駅から1500メートル、徒歩15分。

宿舎

倉敷市内の旅館に2/3、残りの1/3は近郊の浅口郡金光町の旅館となっている。

観光

瀬戸内海国立公園が近く、観光地として鷲羽山がある。快晴なら四国がよく見える。おみやげには畳おもてで作った民芸品。果物が豊富である。

交通

倉敷—岡山間はバスで20分、国鉄（汽車）で10分。

本誌十号に思う

その反省と注文

杉山 茂

本誌も 早いものでもう10号である。一昨年ルーマニアチームが来日した年に創刊されたのだから丸二年。長く続くかどうか不安の声もあったが、とにかく10号を数えた。今年度からは協会登録チームの定期購読制が布かれたのだから、一応そうした創刊当初の不安はなくなった。

しかしそれだけに編集スタッフの責任は大きい。これまでのような方針ではまずいなと思われる面がないでもない。

発刊いらい主に寄稿面でお手伝いしている私も、そうした不満をときどき感じた。

協会の 機関誌だからといって、単に協会の伝達機関であってはならないと思う。

ハンドボールに対するスポーツジャーナリズムの関心は年々高くなってきている。しかし、まだまだそれは主要大会の記録や、取材のみにとどまっていて、ハンドボール界に対する認識や深度は浅い。

換言すれば、それはハンドボール界に対する第三者的見地の批判が現在は少ないということである。そのマイナスを本誌が補なって一向に差し支えないと考えるのである。

全国に 散るハンドボール関係者の〃論壇〃であり、〃集会〃場であることが使命である。世間に対するハンドボールのPR的要素を編集内容に盛られることも結構、大会記録も技術研究も絶対に欠かせない。それも結構。

全ページに旺盛な批判力の感じられる内容の高度化に目標をおいて、ますます発展するよう望んでおきたい。（NHK運動部）

ハンドボール選手の体力

——勝敗を決定する要因のひとつとしての体力——

日本ハンドボール協会
トレーニングドクター　広田公一

勝敗を決定するもの

試合で勝敗を決定する要因には、体力、技術、心理、作戦がある。

体力が勝敗に与える影響についてはいろいろの報告がある。笹原①は、剣道では身長が、柔道では体重が勝敗に大きな影響を与えると報告している。個人競技特に格技では体格が勝敗を左右することが多く、そのハンディキャップを除くために体格特に体重別段階を設けて試合する場合が多い。団体スポーツでは、選手個々の体力の差は、技術（例えば連繋動作）や作戦でかなりカバーされるので特に体力別にわけていないが、青井②によると、ローマオリンピックにおけるバスケットボール種目の順位は選手の平均身長の順位にしたがっており、身長が勝敗に重大な影響をもたらしている。

体力の形態面、それも身長と体重の例を挙げたにすぎないが、体力のすべての要素が多少とも勝敗に関係していることは想像に難くない。ハンドボール競技でも、形態面で例えば手の大きさが大きければ、ボールの握りが確実でボールをコントロールしやすいし、腕が長ければテコの原理で、離した瞬間のボールに大きなスピードをつけることができる。機能面でも、走るスピードが大であったり持久性力が強ければ、相手より有利な条件で試合を進められる。からだ全体の反応速度の大小は、ゴールキーパーの優劣に重要な影響を与えることにもなる。

最近、国際試合がひらかれる機会が多くなったが、その際いつも痛感されることは日本選手の体力の劣弱さである③。体力の形態面（身長、体重、胸囲、腕や脚の太さ、手や足の大きさなど）だけでなく、機能面（筋力、筋持久力、肺活量、呼吸循環機能など）でも彼我の優劣の差が大きい。これが勝敗のすべてを決定するといえないまでも、勝敗に大きな影響を与えていることは確実である。

そこでこのような体力の優劣が日本チーム同じの中にも存在するかということを、チームの強弱と体力の優劣の関連において体力をしらべてみた。

▽測定年月日および場所　昭和三十七年四月二十二日、東京大学教養学部

▽被検校および被検者　優秀なチームとして大学一部校の芝浦工大（十三名）、日体大（十二名）、これより劣るものとして大学二部校の順天堂大（八名）、東大（十四名）。

▽測定項目および測定法

一、形態面…身長、体重

二、機能面…握力、背筋力、右上腕屈筋力、右上腕筋持久力、脚筋力、全身反応時間。（脚筋力、全身反応時間についての報告は次回）

右上腕の屈筋力の測定法。上腕屈筋力は肘関節の角度が120度の時が最大である。その角度で発揮する力（もちあげる錘の目方）をもって上腕屈筋力とした。

右上腕の筋持久力の測定法。上腕屈筋力の⅓の荷重（⅓の目方の錘）を負荷し、1秒1回のテンポでリズミカルに錘をもちあげさせる。錘がもちあげられなくなるか、リズムが乱れるまでおこない、その実施回数をしらべた。第1回目が終ってから5分間休息をおいて、第1回目と全く同様の方法で第2回目を測定した。回復率は2回目の回数/1回目の回数×100

一部校と二部校との比較

▽測定成績と考按　測定成績は表に示してある。いずれも各チームの平均値である。

一部校と二部校の体力を比較すると、身長と体重の形態面で一部校がやや優れている。

機能面で、筋力は、たとえばボールを速くしかも遠くに投げるためには腕の筋肉の収縮速度と筋力が大きいことが必要であるが、筋力で測定した握力、背筋力、上腕の屈筋力のすべてにおいて一部校は二部校を凌駕している。

筋持久力は、第1回目は一部二部校とも同じであるが、5分間の休息後の測定では、両部校とも測定値の低下がみられた。これは5分間の休息ではまだ筋疲労が十分に回復していないことを示している。なお第2回目の実施回数をみると、一部校52.8回、二部校46.4回で、回復率はそれぞれ80.7%、72.1

ハンドボール選手の体力　（1部校と2部校比較）

検査項目		検査校	1部校		2部校	
			芝浦工大	日体大	順天堂大	東大
		検査人員	13	12	8	14
形態	身長	(cm)	171.3	170.3	166.4	168.9
	体重	(kg)	68.0	65.8	59.6	61.0
機能	握力	右(kg)	49.8	51.3	46.1	45.6
		左(kg)	41.0	42.5	43.0	39.9
	背筋力	(kg)	180.4	162.5	160.7	147.1
	右上腕の屈筋力	(kg)	19.3		16.0	
	右上腕の筋持久力	1回(回数)	65.4		64.2	
		2回(回数)	52.8		46.4	
		回復率(%)	80.7		72.1	

％である。この差は、5分間の休息による疲労の回復は、一部校の方が優れていることを示している。

筋持久力とは、一定の筋力を持続して発揮できる能力である。筋持久力が大であれば、一定の負荷の下で長時間活動が可能である。全身運動の場合には、筋持久力のほかに呼吸循環機能の良否が問題になるが、この測定値にあらわれた一部校二部校の筋持久力の差は次のことを暗示している。すなわち、一部校と二部校が試合した場合、試合の当初は同じように活潑に動きまわることができるが、試合時間の経過と共に、二部校において疲労の程度が著しく、やがて一部校の動きについていけなくなってしまう。他の条件が同じであれば勝敗の帰趨は自ら明らかであろう。なお筋持久力の測定値で第1回目が64～65回という値は筋持久力としては普通で、一層の鍛練の必要性を感じさせる。

身長、体重、筋力、筋持久力などにあらわれた一部校と二部校の差は、これがハンドボール試合の勝敗を決定するすべてとはいえないまでもその重大な要因の一であるとみて誤りはない。したがって試合によい成績をあげるためには体力を強化し、相手に優る体力を獲得することが必要である。一部校といえども決して満足できる体力といえない。

期待できる体力増強

体力の中には、身長のように素質的なものによって支配されるものもあるが、多くは適当な刺激を加えれば一層の増強を期待することができる。例えば、サーキットトレーニングは全身のからだづくりと、負荷の方法によっては必要な局所の筋力、筋持久力を高めることができる。ウェイトトレーニングは筋力を強め、インタバルトレーニングは持久性の強化に役立ち、レペティショントレーニングは筋肉の収縮速度を増す。石河④は東大ボート部の練習スケジュールの中にウエイトトレーニング・インタバルトレーニング・レペティショントレーニングを組みいれたところ、背筋力、握力、上腕屈筋力、呼吸循環機能などに著しい向上を示し、特に上腕屈筋力は約半年の経過で50％の増強をきたしたと報告している。レペティショントレーニングを除けば、いずれも比較的短時間で実施でき、それ程ハンドボール自体の練習の邪魔にならない。しかもこれらのトレーニングで、ハンドボールだけの練習からは得られない体力の著しい増強を期待できるのである。

今でも多くの選手は、自分の競技種目の練習さえすれば最高の体力や技術を習得できると考えている。技術の習得はそれで可能かもしれないが、最高の体力を形成するという面ではそれでは決して十分とはいえない。このような誤った考えは直ちにすてて、科学に立脚した新しい練習法に切りかわってもらいたい。(この測定に協力をいただいた芝浦工大、日体大、順天堂大、東大の各選手および、測定に参加された東京大学教育学部の石井喜八、森下はるみ、丹羽昇、矢部京之助、小山貴氏、東京大学教養学部の高嶋冽、山本隆久、田中純二、笠睦美、山口晃、小山秀哉氏、芝浦工業大学の三浦睦夫、佐々木明勇、吉武敦麿氏、関東学院大学若崎重富氏に感謝いたします。)

〔参考文献〕

1 水野忠文、笹原六郎・運動競技管理方式に関する統計学的研究。体育学研究五巻一号二三四頁 (1960)

2 青井水月・未発表。

3 北村和夫・日本、ルーマニアのハンドボール選手の身体計測について、オリンピア第三号55頁 (1961)

4 石河利寛・ボート選手の合宿練習中におけるトレーニングと体力の変化。オリンピア第五号38頁 (1961)

話題のチーム⑩ レナウン大阪の巻

▽…ことしの四月にチームを結成したばかり。まだゼロ歳である。鈴木社長のお声がかりで出来あがり、レナウンとしては本社、立川工場についで三番目、関西では初の女子実業団チーム。選手は馬場太郎さん(桃山学院大監督)がさがしてくれたし、チームの世話は寝屋川高校の中出先生というように、非常に恵まれた環境のなかで誕生した。主力の永盛、藤戸、岸田、吉川の乙女四人は京都女子高出身で、同校の白取愛玲先生が鍛えたもの「うちの選手はみな優秀な人ですよ。おしとやかで、しかもものすごいファイトがあるのです。レナウンへ行ってもじゅうぶんお役に立ちます」と愛玲先生は鼻を高くしている。世界選手権大会の全日本チームにレナウン本社から3人参加するというので「ひとりぐらいは大阪から出してもらいたい」と申し入れたとか。とにかくファイトがある。尼崎高、新居浜西高、那賀高、梅花学園から優秀選手をスカウトしただけあって、実によくまとまっている。ときどき東京からレナウン本社チームの塩川監督が来阪して、いろいろと話しをしている。中出先生もいそがしい時間を割いて新興チームのために汗を流している。GKの岩田(梅花学園)、溝畑(東生野中)はカンのいい選手、京都女子高校の四人組は足もあり、試合なれしているので楽しみ。関西でたった一つの実業団チームなので相手不足「本社、立川工場、大阪工場の対抗試合では優勝してみせます」と張り切っているのは実にたのもしい。関西弁でまくしたてるところはちょっと可愛いチーム。「しっかりたのんまっせ」、「よっしゃ」。

地方だより

桃山大、大阪で優勝

◇第十六回大阪府民体育祭（5月3日―6日、大阪）

▽男子中学準々決勝
箕面二中 20―10 貝塚一中
豊中二中 13―12 豊中五中
三国中 12―5 大淀中
泉南中 12―6 阿倍野中

▽同準決勝
豊中二中 16―11 箕面二中
三国中 12―8 泉南中

▽同決勝
三国中 14―11 豊中二中

▽女子中学準々決勝
豊中三中 11―2 十三中
豊中二中 不戦勝 浜寺中
大淀中 6―1 勝山中
東生野中 5―2 豊中五中

▽同準決勝
豊中三中 5―2 豊中二中
東生野中 5―2 大淀中

▽同決勝
豊中三中 6―0 東生野中

▽男子高校準決勝
三国丘高 16―7 高津高
寝屋川高 18―12 天王寺高

▽同決勝
三国丘高 12―11 寝屋川高

▽女子準決勝
大谷高 16―9 豊中高
寝屋川高 5―2 三国丘高

▽同決勝
寝屋川高 7―6 大谷高

▽男子一般準決勝
高津クラブ 不戦勝 泉大津クラブ
桃山大 9―3 淀高クラブ

▽同決勝
桃山大 21―14 高津クラブ

▽女子一般決勝
レナウン工業 12―8 三国丘高OG

男女とも寝屋川

◇第五回近畿高校選手権大会（5月12、13日、京都府大）

▽男子の部一回戦
兵庫工 12―1 育英（奈良）
三国丘 10―1 和歌山工
寝屋川 10―0 彦根工
伏見 9―5 尼崎工
洛星 7―3 高津
兵庫 11―1 八幡商
和歌山商 8―4 明石
西京 9―6 添上（奈良）

▽同準々決勝
兵庫工 11―10 三国丘
洛星 10―6 兵庫
寝屋川 17―11 伏見
和歌山商 10―10 西京（抽選勝ち）

▽同準決勝
寝屋川 12（5―4 7―4）8 兵庫工
洛星 11（6―6 5―4）10 和歌山商

▽同決勝
寝屋川 不戦勝 洛星

▽女子の部一回戦
寝屋川 19―2 彦根西
大谷（大阪） 16―3 明石
三国丘 9―2 八幡商
梅花学園 11―2 郡山（奈良）
明徳商（京都） 3―1 那賀（和歌山）
豊中 5―4 甲子園学院
京都女 不戦勝 添上（奈良）
尼崎 不戦勝 鴨沂（京都）

▽同準々決勝
寝屋川 7―5 大谷
梅花学園 10―4 明徳商
尼崎 6―4 三国丘
豊中 6―5 京都女

▽同準決勝
寝屋川 9（3―0 6―2）2 尼崎
梅花学園 10（6―3 4―1）4 豊中

▽同決勝
寝屋川 16（7―0 9―3）3 梅花学園

小倉工と明善に栄冠

◇福岡県高校選手権大会（4月28―29日、小倉）

▽男子一回戦
小倉西 7―5 宗像
嘉穂農 3―2 福岡工
西南高 12―5 田川中央

▽同準々決勝
小倉工 18―4 小倉西
田川農 4―3 嘉穂農
香椎工 13―6 八幡工
博多工 11―4 西南高

▽同準決勝
小倉工 22―0 田川農
博多工 15―11 香椎工

▽同決勝
小倉工 22―14 博多工

▽女子リーグ
筑紫中央 9―4 南筑
明善 13―5 南筑
明善 19―1 筑紫中央

大分ク室内で初優勝

◇第一回大分県室内選手権大会（3月27日、大分県営体育館）

▽男子一回戦
鶴崎高 13―9 東豊高
鶴崎工高 24―5 国東農高
中津市クラブ 19―6 臼杵高

▽準決勝
大分クラブ 27―4 鶴崎高
中津市クラブ 14―8 鶴崎工高

▽同決勝
大分クラブ 24―18 中津市クラブ

▽女子一回戦
中津南高 9―1 東豊高B

▽同準決勝
東豊高A 4―2 国東農高
臼杵高 5―3 中津南高

▽決勝
臼杵高 11―1 東豊高A

話題のチーム ⑪

宗形製作所の巻

▽…専務の宗形さんは開口一番「とにかく生れたてのホヤホヤのチームなんです。わたしでさえ、ハンドボールってどんな球技だか知らなかったんですよ。それが見ているうちにおもしろくなったのです。こんなところは岡野バルブの岡野専務さんと一緒ですね」という。なるほどハンドボールの経験者は荒川、平川、鷹見、川辺（いずれも芝浦工大）の四人ぐらいなもの。「芝浦工大のOBは仕事の方も優秀なんです。いい人が入社してくれました」と手放しでほめる。この専務さん、はまだ27歳の独身、会社の寮にいて、平川君と起居をともにしている。実力は未知数だが、大阪府大会にはいつも参加している。丸紅飯田の好選手がいるのでよい刺激になり、月に一回定期戦をやる計画を進めている。

▽…練習時間はなかなか恵まれないが、それでもいやな顔をせず職場では人気もの。土曜日の午後は平川君の鶴の一声で全員あっという間に集まりいっせいに会社の門を飛び出して行く。平均年齢が若いせいか、少しも疲れをしらない。昼食は社員から工員まで会社の給食、ハンドボール部員もそろってパクつく。「一つの釜のメシを食べているんですから、練習でも試合でも呼吸がピッタリ合います」と自慢する。来年は大学出身を入社させ、本格的な実業団のチームづくりに乗り出すことになっている。その一番手は芝浦工大のGK谷君とか。「大崎電気を倒して実業団の王座につくまで結婚しません」とA君が言っていた。ことしの目標をきいたら「国体代表になって岡山国体で大いに走りまくることです」となかなかの強気だ。写真前列中央ですわっているのが宗形専務。

大崎、男女とも優勝

◇第五回東京都民体育大会（4月29日―5月3日、新宿区戸塚一中）

▽男子一回戦
大田クラブ 25―6 城南クラブ
富士宮クラブ 17―9 若木会
丸万百貨店 25―12 五商クラブ
▽男子準々決勝
明星クラブ 27―16 深大クラブ
高井戸クラブ 12―10 明正クラブ
大崎電気 25―7 大田クラブ
丸万百貨店 27―14 富士宮クラブ
▽男子準決勝
大崎電気 28―8 高井戸クラブ
明星クラブ 18―17 丸万百貨店
▽男子決勝
大崎電気 不戦勝 明星クラブ

なお大崎電気は昨年のこの大会で明星クラブを破っていらい現在まで公式戦に19連勝を記録した。

▽女子一回戦
レナウン本社 14―2 深大クラブ
大崎電気 10―3 レナウン立川
▽女子決勝
大崎電気 10―3 レナウン本社

熊本勢が男女制覇

◇第五回近県総合室内選手権大会（3月24―25日、久留米市石橋文化センター、久留米大学体育館）

▽男子一回戦
小倉工業OB 16―6 玄海ク
第四特科連隊 10―9 星山大
博工OB 12―8 岡野バルブ
熊本教員ク 19―5 西南大
山口教員団 11―8 博送ク
熊本市立商高ク 17―8 幹候学校
大分ク 11―9 久留米ク
福岡教員ク 14―9 徳山高ク
▽二回戦
小倉工OB 12―7 四特
熊本教員 26―11 博工OB
山口教員 17―14 熊本市立商高ク
福岡教員ク 15―9 大分ク
▽準決勝
熊本教員ク 20―8 小倉工OB
福岡教員ク 12―11 山口教員
▽決勝
熊本教員ク 20―7 福岡教員ク
▽女子一回戦
明善高ク 7―0 信愛女ク
熊本市立高ク 9―8 徳山高ク
▽二回戦
大洋デパート 14―6 明善高ク
菊池農高ク 18―1 南筑高ク
熊本商大ク 12―1 久泌米ク
熊本市立高ク 7―7 明善ク（抽選勝ち）
▽準決勝
大洋デパート 7―2 菊池農高ク
熊本市立高ク 4―1 熊本商大ク
▽決勝
大洋デパート 8―6 熊本市立高ク

◇東海学生春季選手権大会（4月21―22日、名古屋工大グランド）

（一部）
名大 22―10 愛学大
岐大 20―9 名工大
中京大 32―3 愛学大
名大 9―8 名工大
中京大 16―11 岐大
中京大 21―4 名工大
岐大 16―11 愛学大
中京大 24―3 名大
愛学大 9―8 名工大
岐大 14―10 名大
（順位）1中京大、2岐大、3名工大、4愛知学芸大、5名大

（二部）
県立三重大、静岡大が全試合棄権したので、国立三重大―滋賀の二チームが参加。
滋賀大 14―9 国立三重大
（一、二部入れ替え戦）
名工大（一部） 17―8 滋賀大（二部）

愛知紡、圧倒勝ち

◇第一回東海室内選手権大会（2月25日、豊橋市体育館）

▽男子一回戦
一宮ク（愛知） 18（9―6、9―4）10 篝火ク（岐阜）
全清水商（静岡） 19（10―6、9―6）12 鵜森ク（三重）
▽同決勝
一宮ク（愛知） 11（4―6、7―3）9 全清水商（静岡）
▽女子一回戦
城北高（静岡） 14（6―4、8―6）10 大垣南高（岐阜）
愛知紡績（愛知） 27（11―4、16―4）8 大安ク（三重）
▽同決勝
愛知紡績（愛知） 18（12―3、6―2）5 城北高（静岡）

なお愛知紡は公式勝で18連勝を記録した。

◇第二回西日本（一般男子）選手権大会（4月4、5日、山口県下松市民体育館）

▽準決勝
熊本ク（熊本） 27（11―2、16―7）9 広島ク（広島）
大阪ク（大阪） 23（14―7、9―10）17 福岡ク（福岡）
▽三位決定戦
福岡ク 13（7―5、6―7）12 広島ク
▽決勝
大阪ク 23（8―5、15―11）16 熊本ク

清水商（男子）と、城北（女子）

◇静岡県スポーツ祭（5月19、20日、清水市）

▽一般男子決勝
清商ク 16―7 蒲原ク
▽一般女子決勝
清水女商OG 10―7 城北ク
▽高校男子決勝
清水商 21―8 御殿場高
▽高校女子決勝
静岡城北高 7―6 清水女商

四日市工三重大会に優勝

◇三重県高校大会（5月13、20日、高田高）

▽男子決勝
四日市工 11―5 津高
▽女子決勝リーグ順位
①津女子高②暁高③四日市商

加納高が勝つ

◇岐阜県高校春季選手権大会（4月29日、大垣市）

▽男子一回戦
加納高 15―9 岐阜商
▽同準決勝
岐山高 9―8 大垣南高
加納高 13―8 大垣農
▽決勝
加納高 17（9―2、8―3）5 岐山高
▽女子一回戦
鶯谷高 15―3 岐阜北高
▽同準決勝
加納高 12―1 大垣北高
大垣南高 11―0 鶯谷高
▽決勝
大垣南高 8（4―3、3―4、1―0）7 加納高

中京商、桜台を退く

◇愛知県高校大会（5月13日、20日、名古屋市）

▽男子準々決勝
中京商 18―5 向陽高
一宮高 16―7 瑞陵高
桜台高 12―6 旭丘高
愛知工 6―6 岡崎北高（抽選勝ち）
▽同準決勝
中京商 14―7 一宮高
桜台高 15―9 愛知工
▽決勝
中京商 11（6―3、5―2）5 桜台高
▽女子準々決勝
稲沢高 14―0 松蔭高
名女商 9―3 蒲郡高
豊橋東高 11―1 愛知商
半田高 17―6 名女院
▽同準決勝
稲沢高 14―6 名女商
半田高 17―5 豊橋東高
▽同決勝
稲沢高 12（4―3、8―3）6 半田高

半田で女子招待大会

愛知県半田市体育協会は4月1日、愛知紡コートで女子チーム招待大会を行なった。

尼崎高 7―6 半田高
愛知紡 18―2 水海道二高
尼崎高 9―5 稲沢高
半田高 9―6 水海道二高
愛知紡 15―12 稲沢高

田村紡（三重）チームを結成

三重県最初の女子実業団チームとして四日市市の田村紡績がチームを結成。4月19日結成披露試合が同社のコートで行なわれた。
関係者の話によると『スポーツ選手の明朗さと責任感を職場にも反映させようと思い、ハンドボールを採りあげた』といっている。注目されるのはこれまでの女子実業団は、ほとんどが有力高校や大学出の選手を主力として結成しているが、田村紡績は三重県中学女子ナンバーワンの成章中学を今春卒業したばかりの若手選手を母体としている。『二、三年先を目標にしている。幸い愛知紡績をはじめ近県に強いチームがいるので試合の相手には不足しない』と将来に期待を寄せている。また社長の田村正衛氏は三重県体育協会長であり、これから楽しみが多い。

▽結成試合成績
田村紡 16―5 津女子高
田村紡 32―1 暁高

訂正

兵庫県立兵庫工業高校の狩野幸介先生から次の訂正を申し入れてきました。

本誌第9号33ページ、第5号22ページの全日本総合室内選手権大会優勝チーム一覧表のなかで「第3回大会準優勝チームが四日市高校となっているのは誤まりで、全兵庫が正しい」ということです。おわびして訂正します。
四日市高校は準決勝で全兵庫に6―5で負け、全兵庫は決勝で日体大に6―0で負けています。（係より）

投書欄

公認スコア・ブックを

本誌七号の時評欄で記録に対する関心が低いという一文があった。それと同時に感じるのは、協会の認定する〃スコア・ブック〃がないことである。

スコア・ブックというと野球がいちばんポピュラーだが、その他のボール・ゲームも例外なく統一されたスコア・ブックがある。これまでのハンドボール界は、各チーム思い思いの様式で記録を留めていたにすぎなかった。こうしたことも記録に対する無関心の一例といえる。この機に協会もぜひ統一（公認）したスコア・ブックを設定されるよう望みたい。とりあえず貴誌あたりで〃各チームのスコア・ブック〃といった企画をねってみたら、参考になると考える（大阪・関心寄世男）

遠征、残留組が仲よく

第二回世界女子選手権大会に日本が初出場する。実によろこばしいことである。選手をみると愛知紡6人。大崎電気5人。レナウン工業本社3人。熊本大洋デパート1人となっている。構成メンバーも優秀です。このほか愛知紡には優秀な選手がいますが選ばれなかったのは気の毒に思います。

ここで心配するのは愛知紡のことです。昨年女子の4大タイトルを握り、名実ともに日本一です。費用の関係で単独チームを断念したときいておりますが、遠征組と残留組とが、こんごうまくいくかどうかです。ヨーロッパ遠征から帰国するとすぐ全日本総合選手権があります。遠征組が本場のヨーロッパで腕を磨いているのに、残留組が〃ヒガミ根性〃で練習しなかつたら大変です。遠征するもの。残留するものが対立したら、せっかくの愛知紡が獲得した大タイトルが泣きます。これは愛知紡ばかりでなく、大崎電気、レナウン本社、熊本大洋デパートにも共通しています。うまく行っているかどうかは、全日本総合のゲームの上にはっきり出てくると思います。こんなことがないように遠征組、残留組がしっかり手をつないでほしいと思います。

（大阪、一女子高校生）

質問欄

問　最近三年間（除く今春）の関東学生リーグ二部の優勝校をお知らせ下さい

（東京　鎌田生）

答　昭和三十四年春法大、同秋防衛大、昭和三十五年春法大、同秋立大、昭和三十六年春慶大、同秋教大

問　年間主要大会の後援新聞社がお判りでしたら御回答下さい

（大阪・杉村治義）

答　全日本総合(読売新聞社)　全日本学生(毎日新聞社)　全日本総合室内（朝日新聞社・NHK）全日本学生王座（朝日新聞社）全日本学生選抜東西対抗(朝日新聞社)　全日本実業団（産経新聞社）　全日本高校(朝日新聞社)、関東学生リーグ(日刊スポーツ東京本社)、関西学生リーグ(日刊スポーツ大阪本社)、西日本学生選手権(デイリースポーツ）などが主なところで全日本は開催地の地元新聞社が共同後援することもあります。

問　公認審判員のランクによる管理範囲につき御説明下さい。

（宮城・TG生）

答　日本ハンドボール協会審判委員会では、公認審判員をA・B・Cの三ランクに分け、A級はあらゆる公式試合を管理することが出来、B級は各府県協会及各ブロックの主催する競技、C級は各府県協会の主催する競技をそれぞれ管理することが出来ると規定しています。なお、学連審判員はこれとは別途の規定が設けられ、例えば関東学生リーグではリーグ内の審判委員会の推せん審判（各校OB）によって管理されることになっています。

投稿歓迎

★**投書欄**　字数千字以内、建設的な意見に限る。用紙自由。
★**大会記録**　用紙自由。
★**研究発表**　技術上、審判上、ハンドボール史などの論文。四百字詰め原稿用紙十五枚以内。
★**質問欄**　用紙ハガキ

編集後記

▽…女子チームが初めて国際試合として遠征する。男子高校も韓国へ行く。昨年の世界選手権参加、日体大の韓国遠征と、協会もなかなかいそがしい。九月スペインで開かれる国際ハンドボール連盟総会にも出席して世界選手権の東京招致を申し入れるとか。楽しみがひとつ増しました。

▽…第9号の「高松宮妃殿下を囲んで」の座談会は各方面から好評をいただいている。いままで宮さまを囲んでの座談会はなかった。それをハンドボールがやったというのでスポーツ関係者は驚いている。それとアンケートも各方面からよろこばれた。編集にたずさわっている一人として、こんなうれしいことはありません。よいアイデアがありましたらお知らせください。

▽…本号は世界女子選手権の特集号のつもりで編集しました。各実業団チームから選抜し、その方法も実にすっきりしています。勝敗は別としてハンドボールファンは心から声援を送ってください。

▽…四月に門司へ行って岡野パルプの人たちに会い、社会人チームのあり方についていろいろと勉強してきました。既成選手が半分、しろうとが半分のチームです。次号でくわしく紹介します。帰りに徳山、下松市を訪れてことしの全日本総合、明年の国体の会場をみてきました。地元関係者の努力には頭が下がりました。（ふぐ）

日本ハンドボール協会編
ハンドボール　第十号
昭和三十七年六月二十五日印刷
昭和三十七年六月三十日発行
発行所　日本ハンドボール協会
東京都千代田区神田駿河台ノ六
電話（251）九五一一～五　振替東京五八三四八番
編集兼発行人　高嶋冽
定価五十五円（〒）二十円